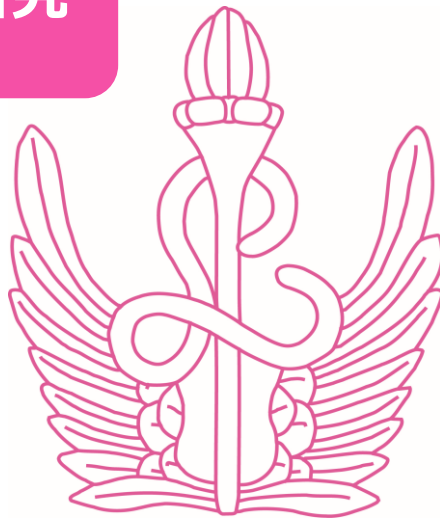


研究白書

2022

集計対象期間：2016年度～2021年度
(一部、2022年5月1日時点の数値を使用)

研究



2022年11月22日

東京外国語大学

目 次

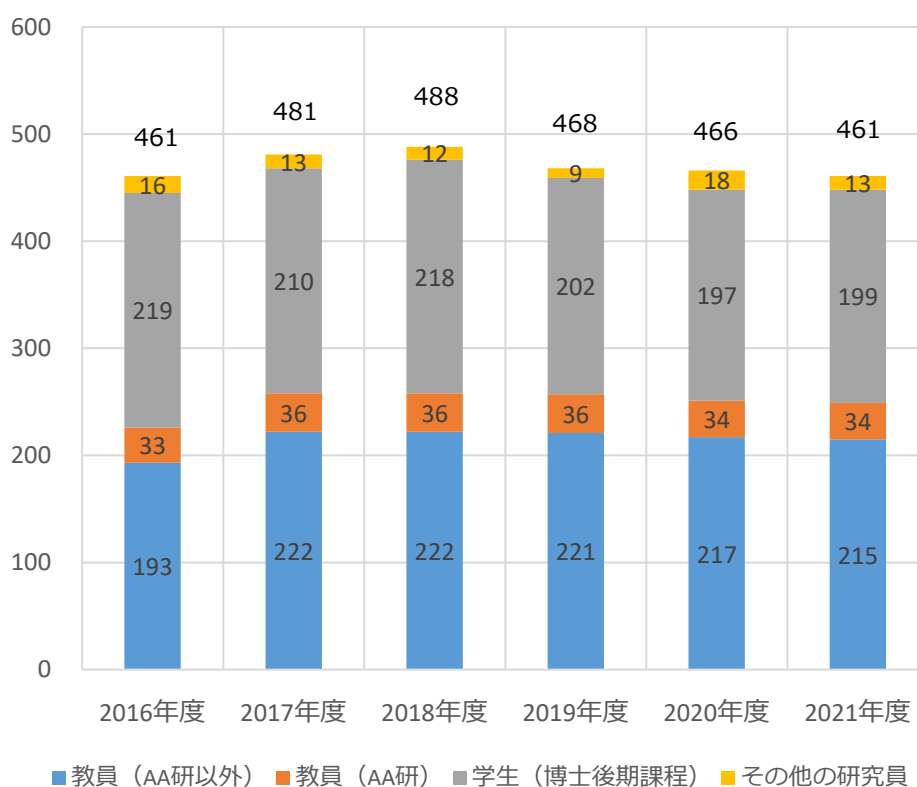
第1章 組織	3
研究者	3
第2章 研究予算	9
研究費予算	9
第3章 外部資金	13
第1節 科研費	13
受入金額	13
受入件数	16
研究種目別	18
採択率	20
2021年度 実施課題一覧	21
第2節 受託研究・共同研究・受託事業	32
受託研究	32
共同研究	34
受託事業	35
第3節 寄附金	36
寄附金	36

第1章 組織

研究者

●研究者数（本務者）の推移

単位：名



※注：「AA研」はアジア・アフリカ言語文化研究所を指す（以下「AA研」）

総務省「科学技術研究調査」2016年度～2021年度の本学回答分をもとに作成

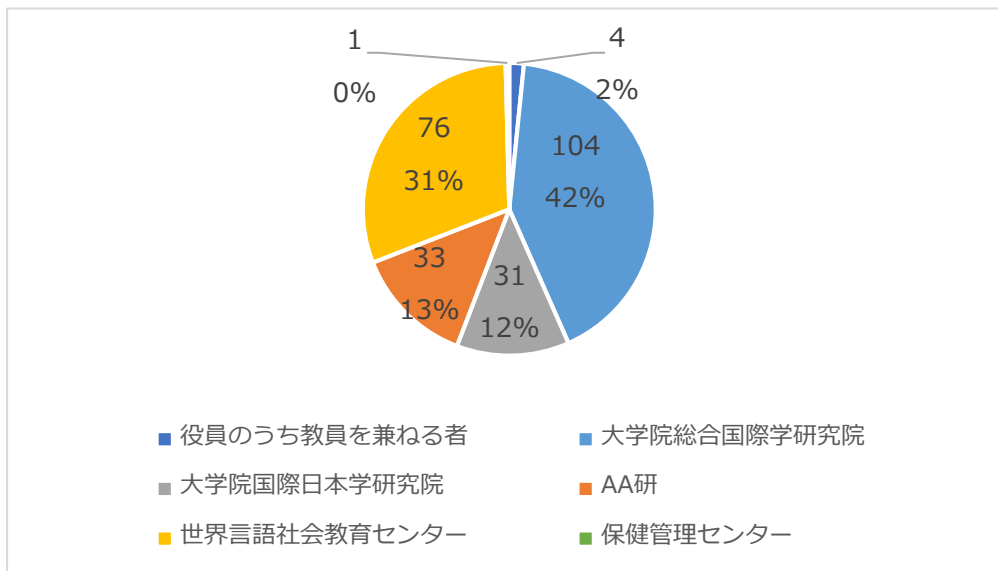
単位：名

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教員	226	258	258	257	251	249
うち、AA研	33	36	36	36	34	34
学生（博士後期課程）	219	210	218	202	197	199
その他の研究員	16	13	12	9	18	13
本務者合計	461	481	488	468	466	461

●2022年度 教員の内訳（2022年5月1日現在）

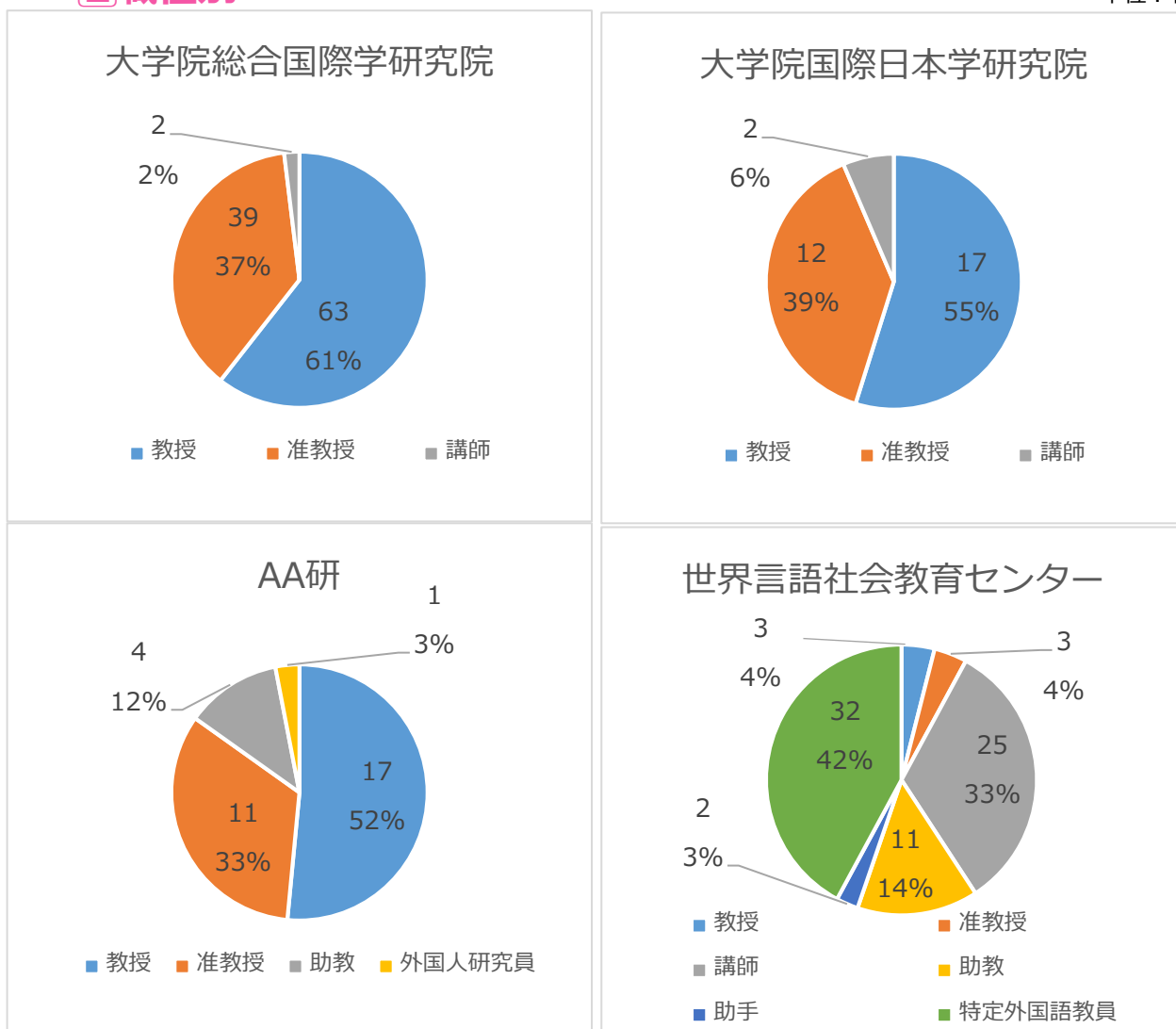
①部局別

単位：名



②職位別

単位：名

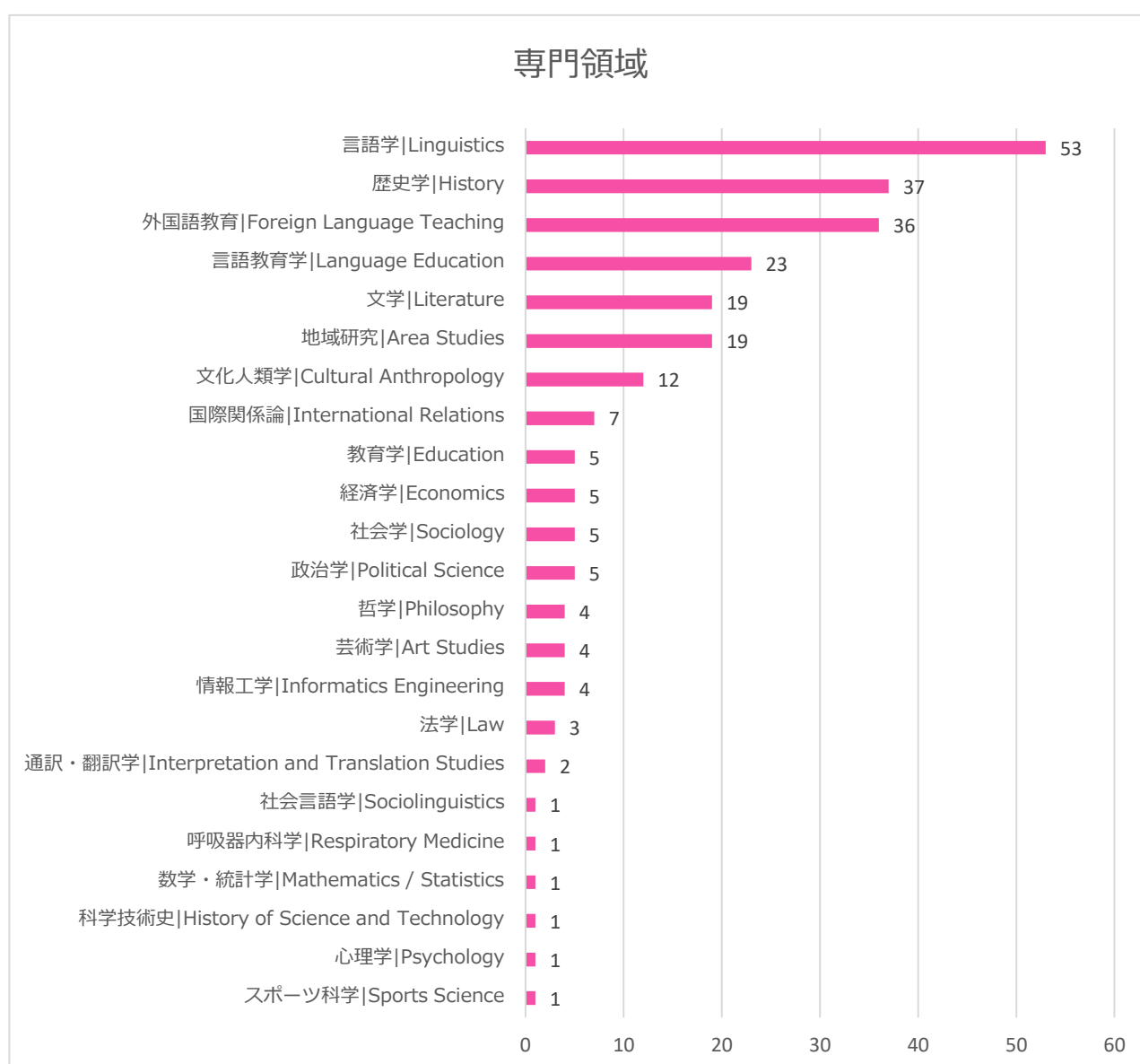


単位：名

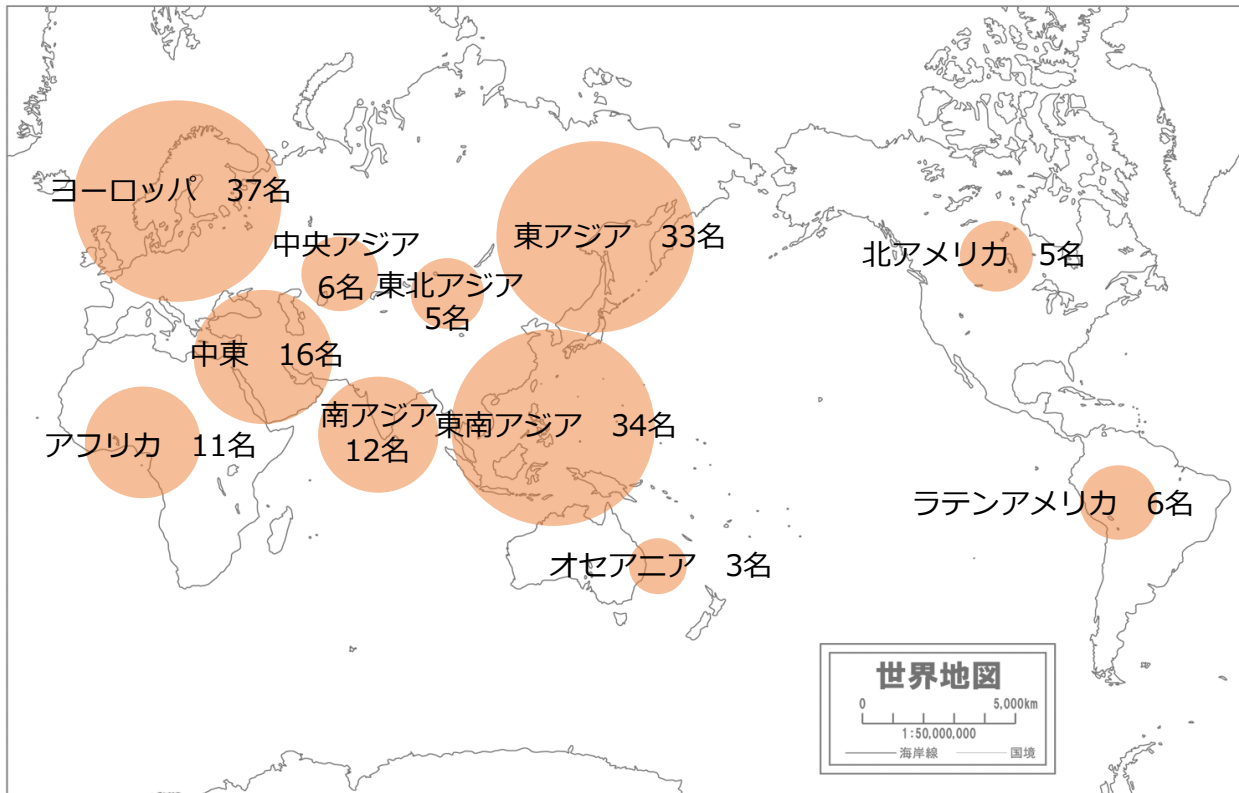
項目名／職位	教授	准教授	講師	助教	助手	特定外国語教員	外国人研究員	合計
役員のうち教員を兼ねる者	4							4
大学院総合国際学研究院	63	39	2					104
大学院国際日本学研究院	17	12	2					31
AA研	17	11		4			1	33
世界言語社会教育センター	3	3	25	11	2	32		76
保健管理センター	1							1
教員合計	105	65	29	15	2	32	1	249

3分野別

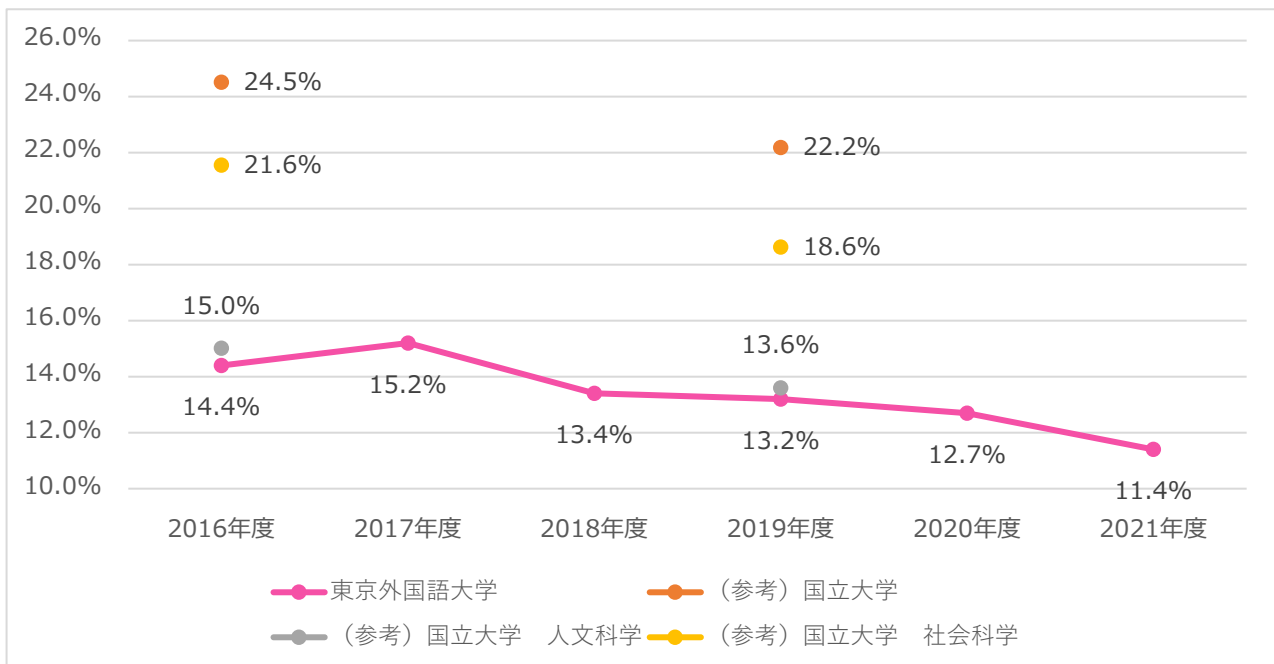
単位：名



専門地域



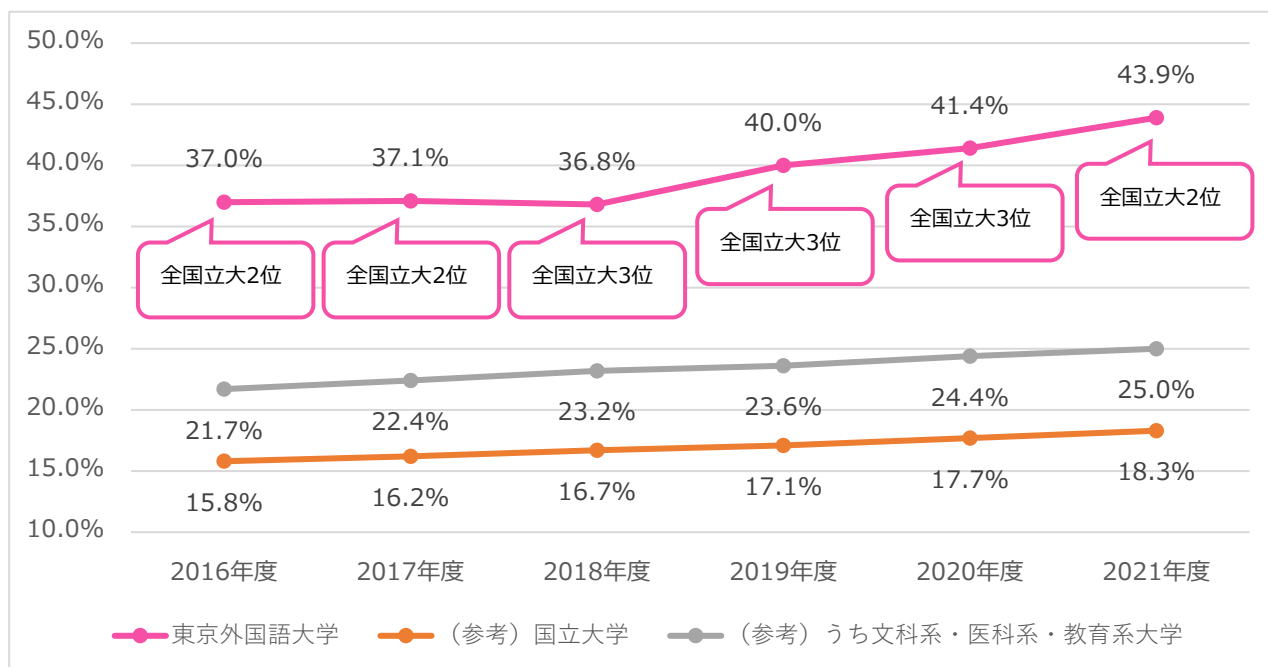
● 本務教員に占める40歳未満教員の割合の推移



文部科学省 学校教員統計調査より作成

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	14.4%	15.2%	13.4%	13.2%	12.7%	11.4%
(参考) 国立大学	24.5%	—	—	22.2%	—	—
(参考) うち人文科学	15.0%	—	—	13.6%	—	—
(参考) うち社会科学	21.6%	—	—	18.6%	—	—

● 女性教員比率の推移



※国立大学の特性別区分について

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による各国立大学の財務関係情報の集計・分析に用いられる特性別区分（86大学を学部構成等の特性に応じて①旧帝国大学、②附属病院を有する総合大学、③附属病院を有しない総合大学、④理工系大学、⑤文科系大学、⑥医科系大学、⑦教育系大学、⑧大学院大学の8区分に分類）を基に、女性教員比率に近い⑤文科系大学、⑥医科系大学、⑦教育系大学の3区分を文科系大学・医科系大学・教育系大学とまとめている。

なお、⑧大学院大学については、設置している専攻の特性に応じて一部を本区分に追加する。

● 文科系大学・医科系大学・教育系大学 一覧（22大学）

【⑤文科系大学 5大学】小樽商科大学、東京外国語大学、東京藝術大学、一橋大学、滋賀大学

【⑥医科系大学 4大学】旭川医科大学、東京医科歯科大学、浜松医科大学、滋賀医科大学

【⑦教育系大学 12大学】北海道教育大学、宮城教育大学、東京学芸大学、上越教育大学、愛知教育大学、京都教育大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学、鳴門教育大学、福岡教育大学、鹿屋体育大学

【⑧大学院大学 のうち本区分に分類される大学 1大学】政策研究大学院大学

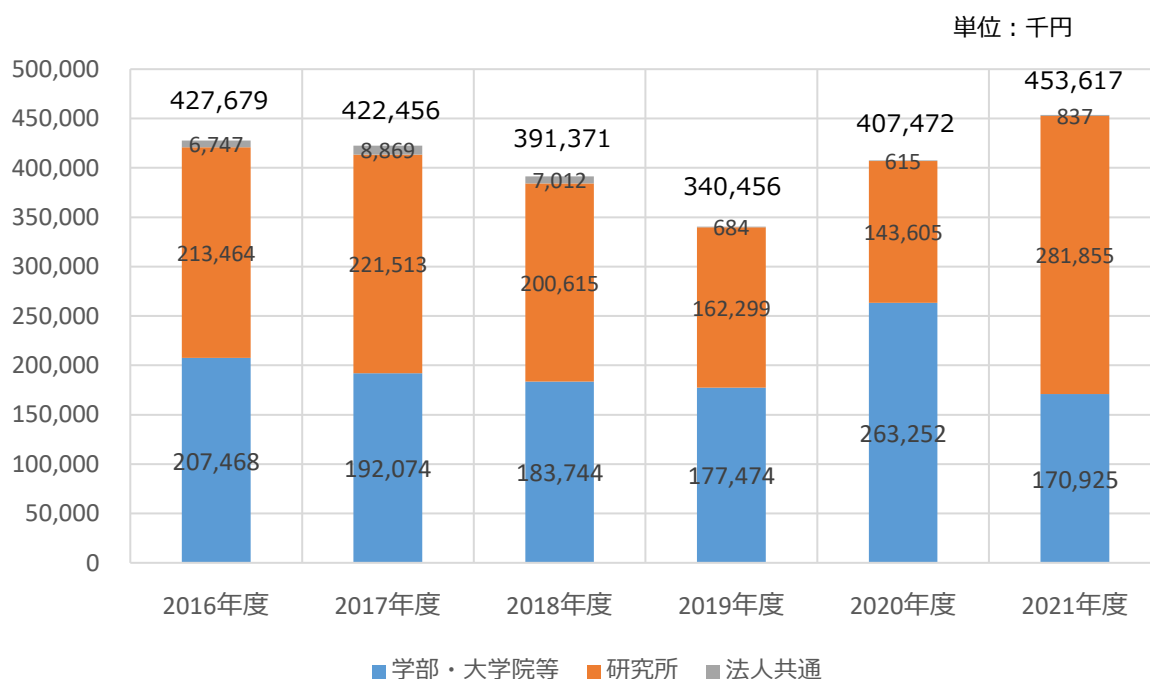
一般社団法人国立大学協会「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第18回追跡調査報告書」より作成 (https://www.janu.jp/wp/wp-content/uploads/2022/02/202201houkoku_01.pdf)

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	37.0%	37.1%	36.8%	40.0%	41.4%	43.9%
(参考) 国立大学	15.8%	16.2%	16.7%	17.1%	17.7%	18.3%
(参考) うち文科系・医科系・教育系大学	21.7%	22.4%	23.2%	23.6%	24.4%	25.0%

第2章 研究予算

研究費予算

●セグメント別 研究経費の推移



セグメント	業務内容（構成する組織）
学部・大学院等	学部、大学院、留学生日本語教育センター
研究所	アジア・アフリカ言語文化研究所
法人共通	附属図書館、総合情報コラボレーションセンター、保健管理センター、事務局

※各年度 本学の財務諸表「開示すべきセグメント情報」より抜粋

単位：千円

セグメント名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
学部・大学院等	207,468	192,074	183,744	177,474	263,252	170,925
研究所	213,464	221,513	200,615	162,299	143,605	281,855
法人共通	6,747	8,869	7,012	684	615	837
合計	427,679	422,456	391,371	340,456	407,472	453,617

● 国立大学の財務分析比率（研究分野）

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構では、各国立大学法人の財務諸表、事業報告書及び決算報告書などの公表資料のうち、財務関係の情報について集計・分析を行い、各国立大学法人が財務・経営改善の検討を行う際の参考資料として作成している。

各国立大学の財務関係情報の集計・分析に用いられる特性別区分（86大学を学部構成等の特性に応じて①旧帝国大学、②附属病院を有する総合大学、③附属病院を有しない総合大学、④理工系大学、⑤文科系大学、⑥医科系大学、⑦教育系大学、⑧大学院大学の8区分に分類）に基づき、研究分野の財務分析を行う。

【⑤文科系大学 5大学】小樽商科大学、東京外国語大学、東京藝術大学、一橋大学、滋賀大学

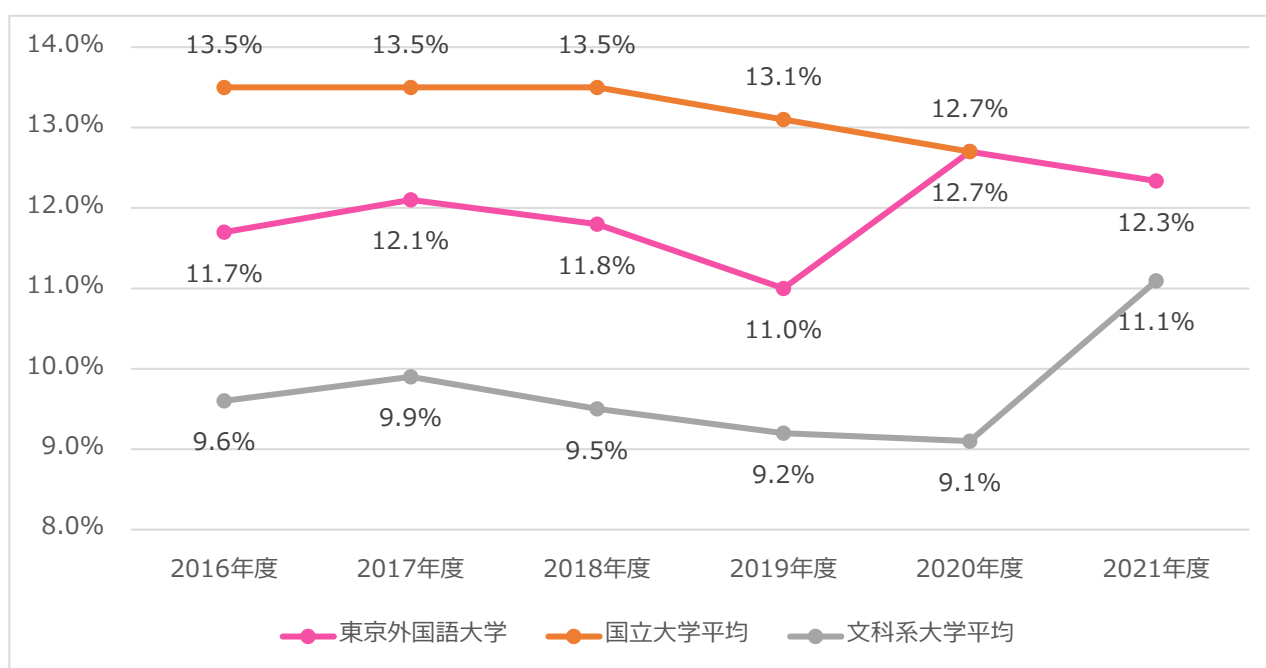
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「国立大学法人の財務(大学別概要) 令和3年度版」

(https://www.niad.ac.jp/support/university_finance/summary/entry-4663.html) 及び、各大学の令和3年度決算より作成

①研究経費比率

定義式 = (【損益計算書】研究経費 + 受託研究費 + 共同研究費 + 【科学研究費補助金の明細】科研費等の直接経費) / (【損益計算書】経常費用 + 【科学研究費補助金の明細】科研費等の直接経費) × 100

研究活動で消費される経費が大学の経常的な経費に占める割合を示す。この数値が大きいほど、研究活動に使用される資源の割合が高いことを示す。ただし、分子の【損益計算書】研究経費には人件費等が含まれておらず、また研究経費として大学の基盤的研究以外に受託研究及び科研費等による研究で消費される経費を含めている。



項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	11.7%	12.1%	11.8%	11.0%	12.7%	12.3%
国立大学平均	13.5%	13.5%	13.5%	13.1%	12.7%	-
文科系大学平均	9.6%	9.9%	9.5%	9.2%	9.1%	11.1%

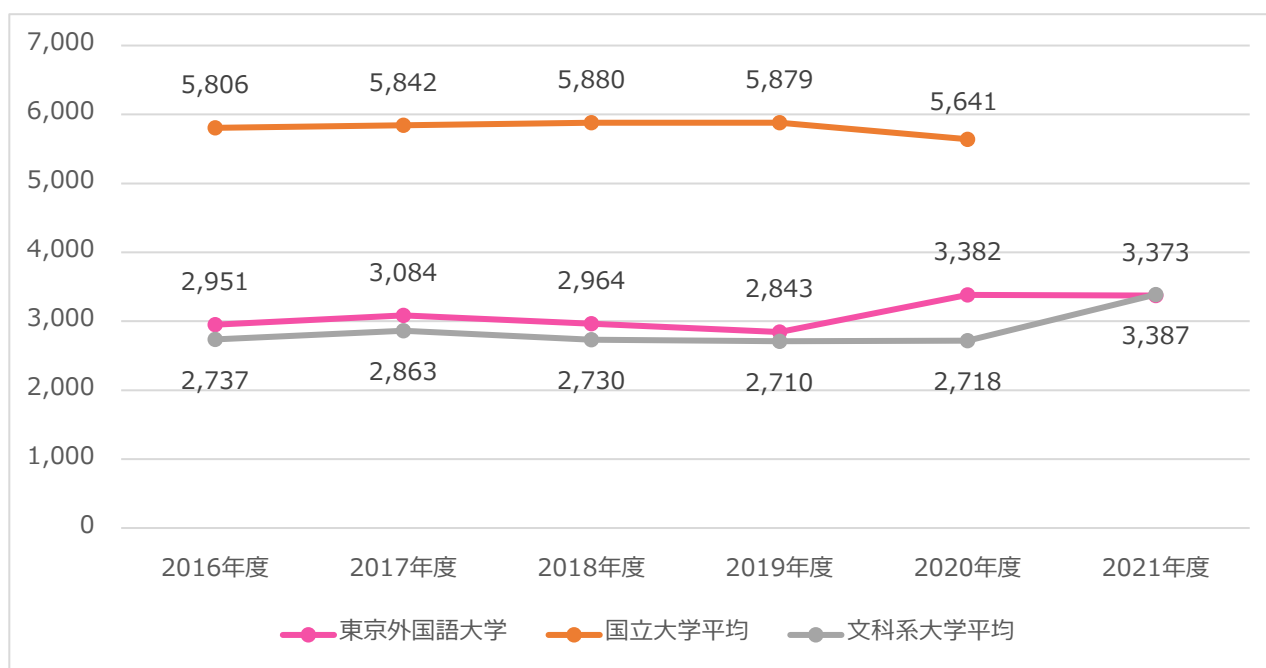
※財務諸表を公開していない大学があるため、2021年度国立大学平均は算定不可

②常勤教員一人当たり研究経費

定義式 = (【損益計算書】研究経費 + 受託研究費 + 共同研究費 + 【科学研究費補助金の明細】
 科研費等の直接経費) / (【大学基本情報】教員数(本務者))

常勤教員一人当たりの研究活動を経費面で示す指標。分子の【損益計算書】研究経費には人件費等が含まれておらず、外部資金による研究経費(科研費等に関する附属明細書に掲載されている資金に限定)が含まれている。この数値が大きいほど、研究活動で使用される経費が大きい(財務的に研究活動が盛ん)と解釈できる。ただし、学部・学科や大学院研究科の構成・規模や附属病院の有無によって研究活動に必要とする資金量が異なる。とりわけ、附置研究所を有する大学は高めに算定される可能性があることに注意が必要。

単位：千円



単位：千円

項目名/年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	2,951	3,084	2,964	2,843	3,382	3,373
国立大学平均	5,806	5,842	5,880	5,879	5,641	-
文科系大学平均	2,737	2,863	2,730	2,710	2,718	3,387

※財務諸表を公開していない大学があるため、2021年度国立大学平均は算定不可

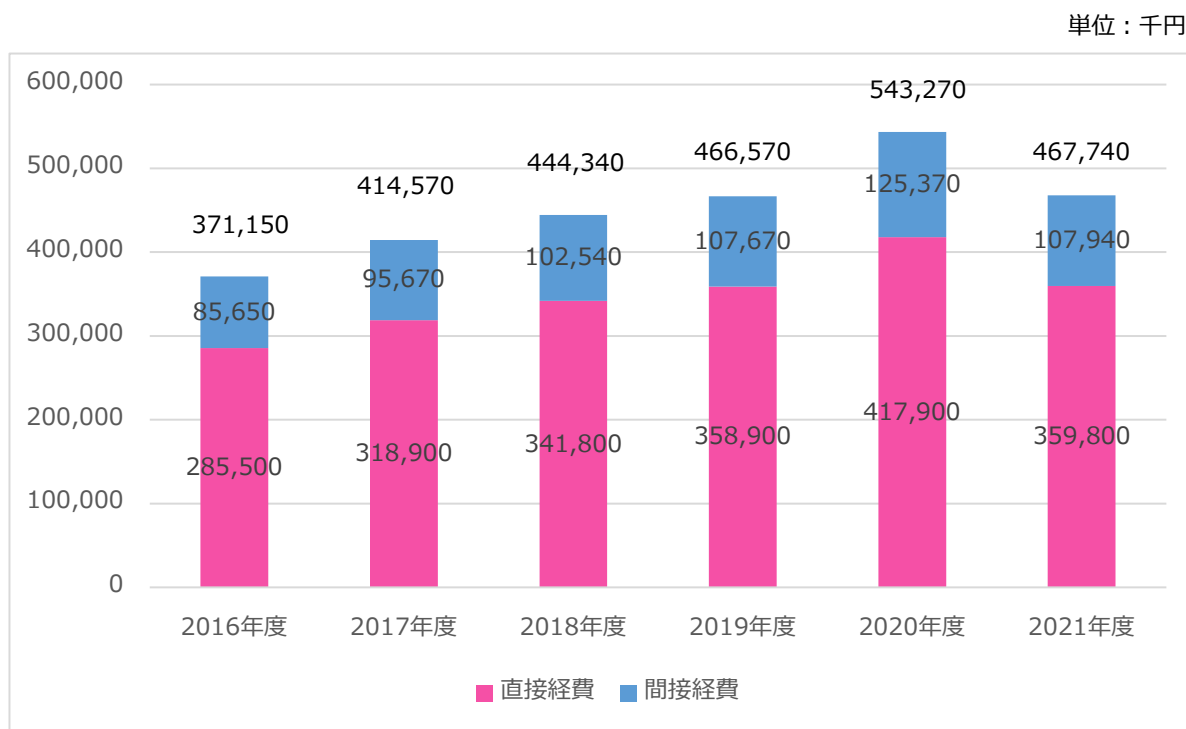
第3章 外部資金

第1節 科研費

受入金額

● 受入金額の推移

① 本学



日本学術振興会「研究機関別配分状況」2016年度～2021年度をもとに作成
 (https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/index.html)

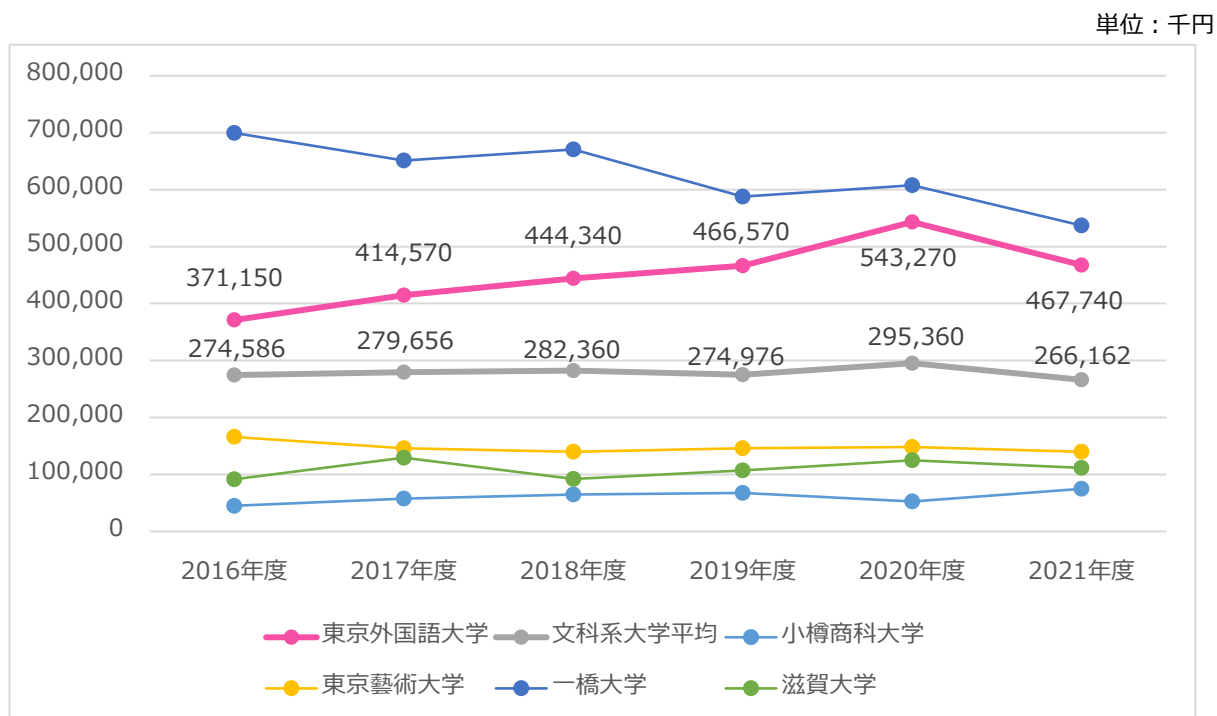
単位：千円

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	285,500	318,900	341,800	358,900	417,900	359,800
間接経費	85,650	95,670	102,540	107,670	125,370	107,940
合計	371,150	414,570	444,340	466,570	543,270	467,740

②他大学との比較

※国立大学の文科系大学について

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による各国立大学の財務関係情報の集計・分析に用いられる特性別区分（86大学を学部構成等の特性に応じて①旧帝国大学、②附属病院を有する総合大学、③附属病院を有しない総合大学、④理工系大学、⑤文科系大学、⑥医科系大学、⑦教育系大学、⑧大学院大学の8区分に分類）を基に、⑤文科系大学の5大学間で比較を行う。



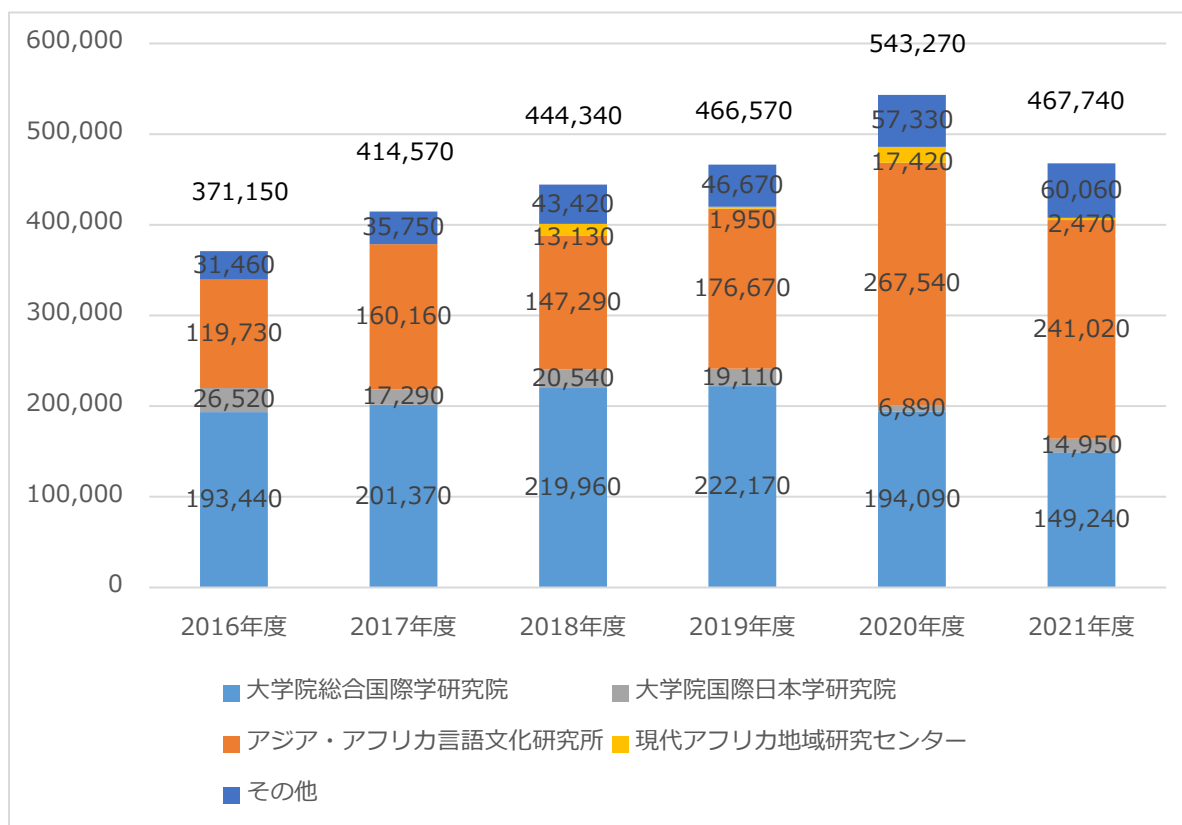
日本学術振興会「研究機関別配分状況」2016年度～2021年度をもとに作成
 (https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/index.html)

単位：千円

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	371,150	414,570	444,340	466,570	543,270	467,740
文科系大学平均	274,586	279,656	282,360	274,976	295,360	266,162
(参考) 国立大学平均	1,561,951	1,568,953	1,561,298	1,560,501	1,589,521	1,596,235

● 部局別受入金額の推移

単位：千円



日本学術振興会「研究機関別配分状況」2016年度～2021年度をもとに作成
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/index.html

単位：千円

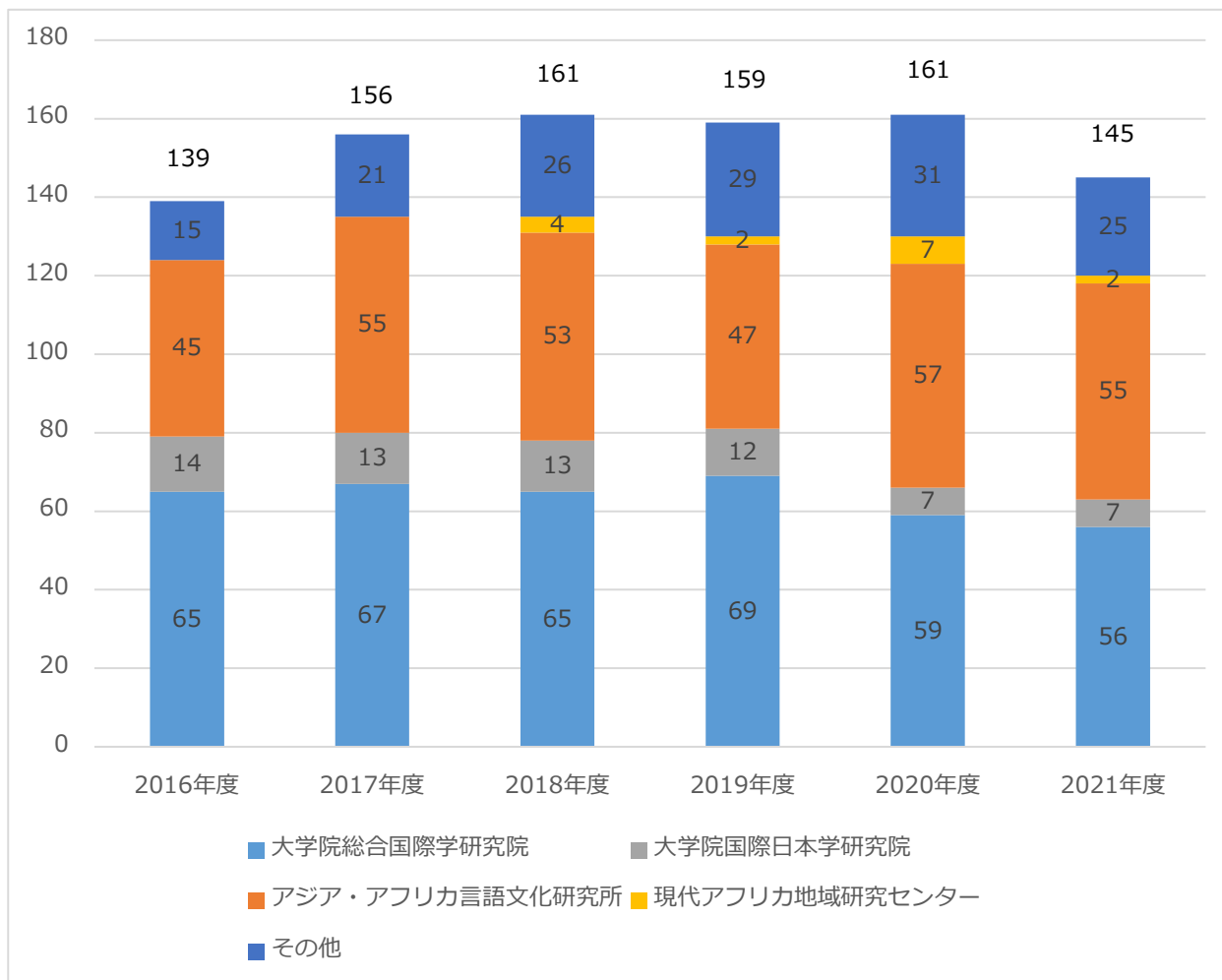
項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
大学院総合国際学研究院	193,440	201,370	219,960	222,170	194,090	149,240
大学院国際日本学研究院	26,520	17,290	20,540	19,110	6,890	14,950
アジア・アフリカ言語文化研究所	119,730	160,160	147,290	176,670	267,540	241,020
現代アフリカ地域研究センター	-	-	13,130	1,950	17,420	2,470
その他	31,460	35,750	43,420	46,670	57,330	60,060
合計	371,150	414,570	444,340	466,570	543,270	467,740

受入件数

● 受入件数の推移

① 本学

単位：件



日本学術振興会「研究機関別配分状況」2016年度～2021年度をもとに作成

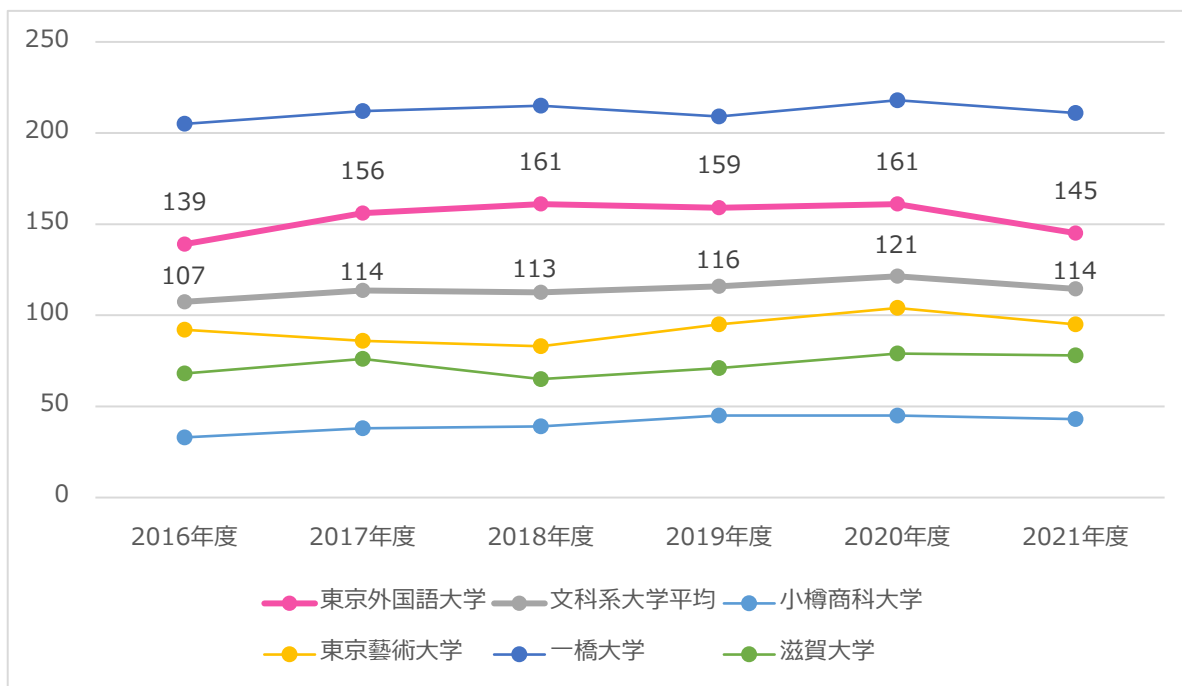
(https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/index.html)

単位：件

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
大学院総合国際学研究院	65	67	65	69	59	56
大学院国際日本学研究院	14	13	13	12	7	7
アジア・アフリカ言語文化研究所	45	55	53	47	57	55
現代アフリカ地域研究センター	-	-	4	2	7	2
その他	15	21	26	29	31	25
合計	139	156	161	159	161	145

②他大学との比較

単位：件



日本学術振興会「研究機関別配分状況」2016年度～2021年度をもとに作成
 (https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/index.html)

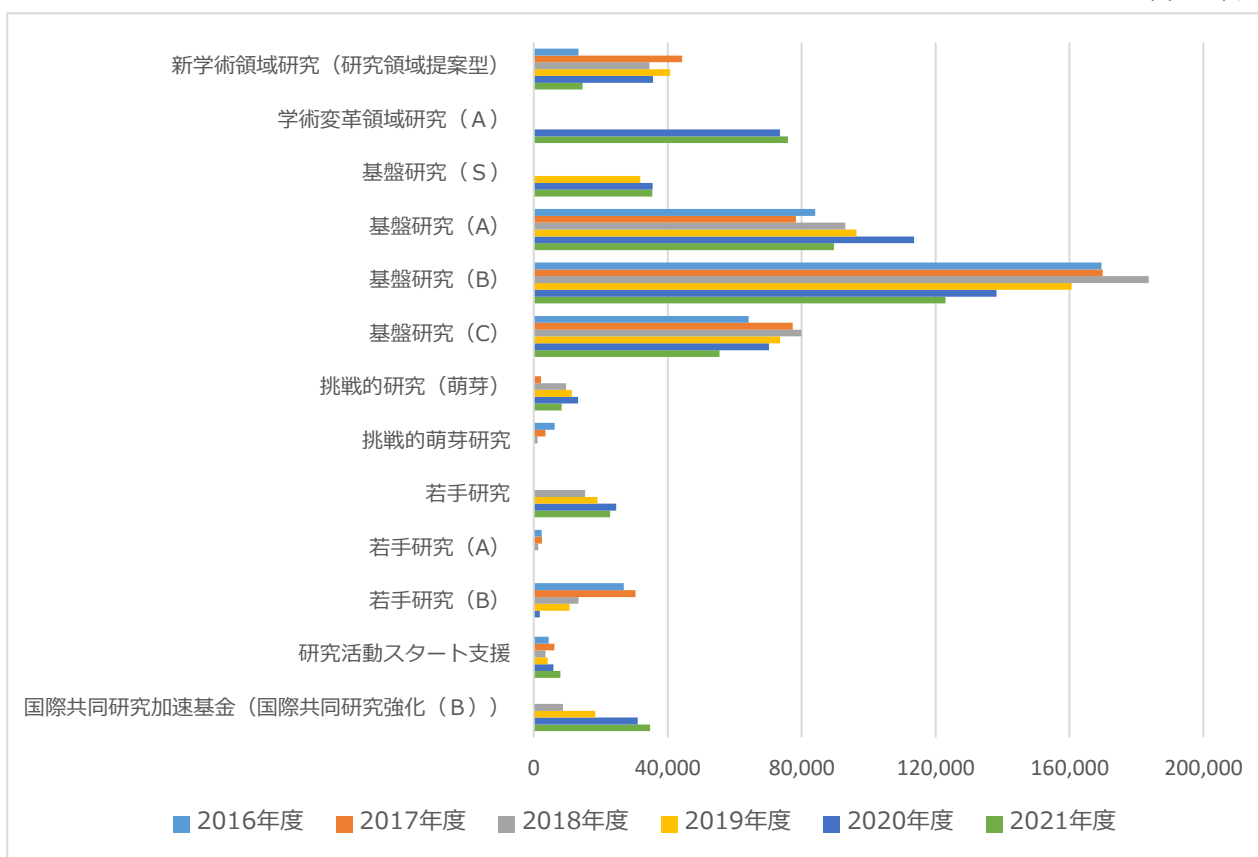
単位：件

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	139	156	161	159	161	145
文科系大学平均	107	114	113	116	121	114
(参考) 国立大学平均	474	469	460	475	492	496

研究種目別

● 研究種目別受入金額の推移

単位：千円

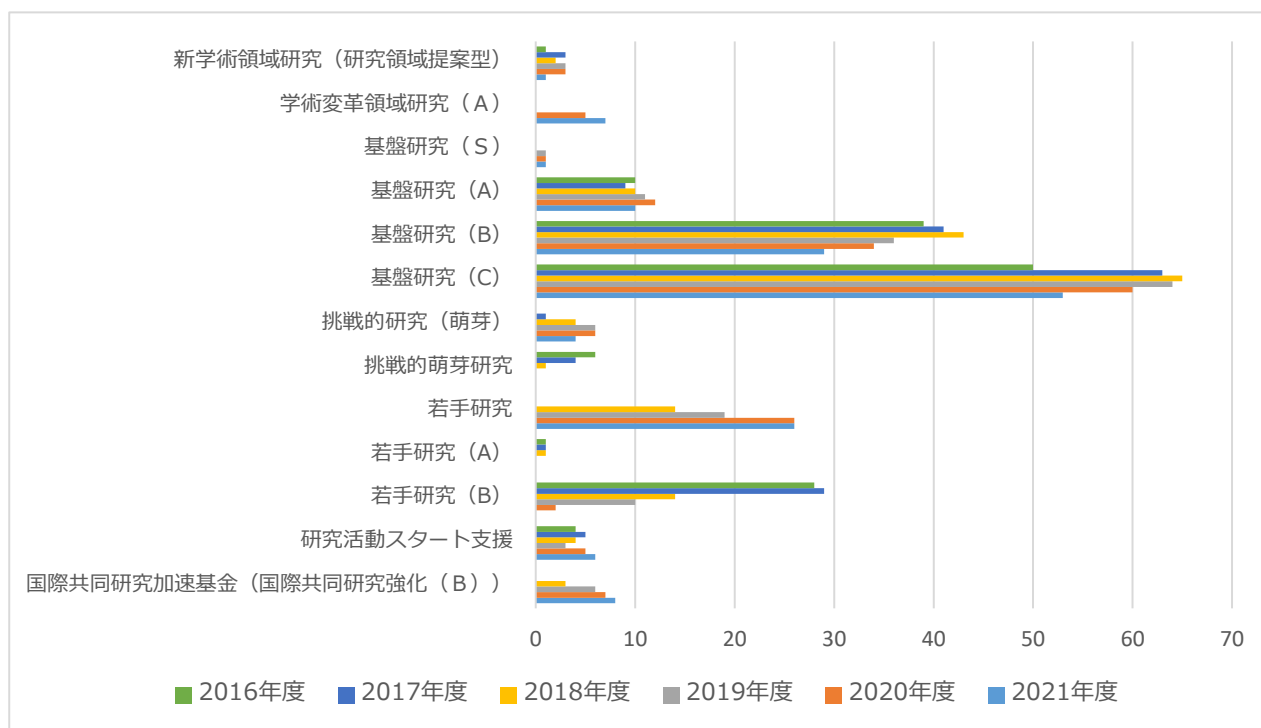


単位：千円

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
新学術領域研究（研究領域提案型）	13,390	44,330	34,580	40,690	35,620	14,560
学術変革領域研究（A）					73,580	75,920
基盤研究（S）				31,850	35,490	35,360
基盤研究（A）	84,110	78,260	93,080	96,330	113,620	89,635
基盤研究（B）	169,520	169,910	183,690	160,680	138,190	122,980
基盤研究（C）	64,220	77,350	79,950	73,580	70,200	55,510
挑戦的研究（萌芽）		2,210	9,620	11,310	13,260	8,320
挑戦的萌芽研究	6,240	3,510	1,170			
若手研究			15,340	18,980	24,570	22,815
若手研究（A）	2,340	2,470	1,300			
若手研究（B）	26,910	30,420	13,390	10,660	1,820	
研究活動スタート支援	4,420	6,110	3,510	4,160	5,850	7,930
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））			8,710	18,330	31,070	34,710
合計	371,150	414,570	444,340	466,570	543,270	467,740

● 研究種目別受入件数の推移

単位：件



単位：件

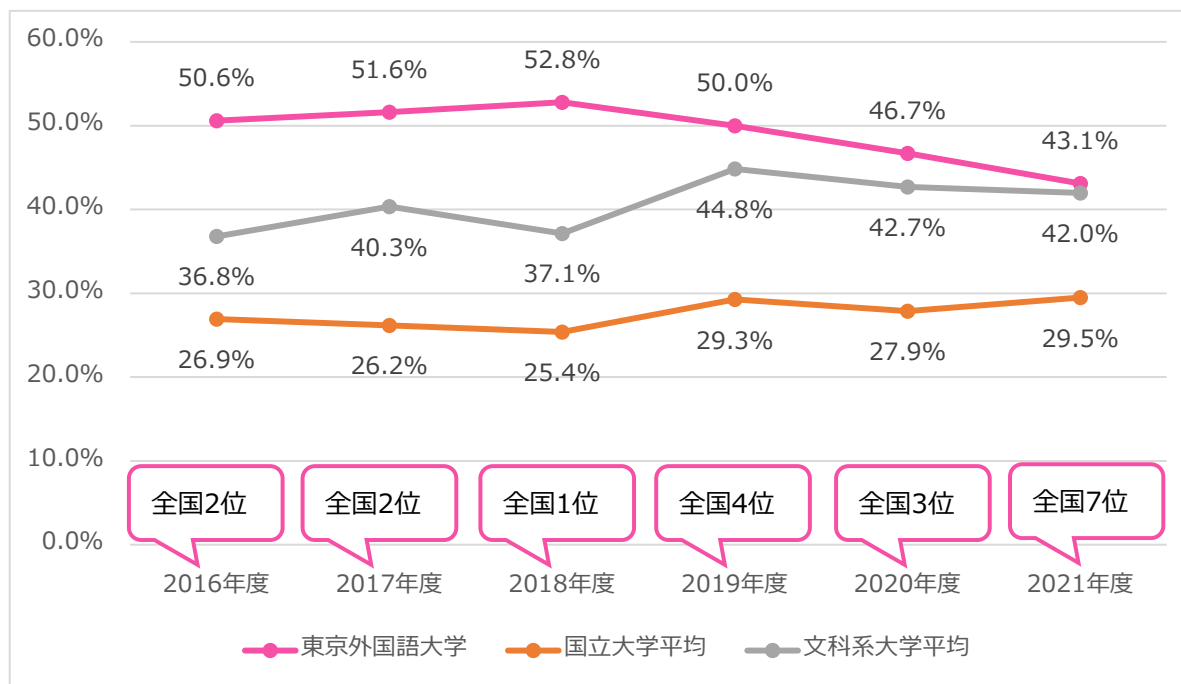
項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
新学術領域研究（研究領域提案型）	1	3	2	3	3	1
学術変革領域研究（A）					5	7
基盤研究（S）				1	1	1
基盤研究（A）	10	9	10	11	12	10
基盤研究（B）	39	41	43	36	34	29
基盤研究（C）	50	63	65	64	60	53
挑戦的研究（萌芽）		1	4	6	6	4
挑戦的萌芽研究	6	4	1			
若手研究			14	19	26	26
若手研究（A）	1	1	1			
若手研究（B）	28	29	14	10	2	
研究活動スタート支援	4	5	4	3	5	6
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））			3	6	7	8
合計	139	156	161	159	161	145

日本学術振興会「研究機関別配分状況」2016年度～2021年度をもとに作成

(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/index.html)

採択率

● 新規採択率の推移



※注：順位は新規応募件数が50件以上の研究機関を分析対象とした研究機関別の採択率による

日本学術振興会「研究機関別配分状況」2016年度～2021年度をもとに作成

(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/index.html)

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	50.6%	51.6%	52.8%	50.0%	46.7%	43.1%
国立大学平均	26.9%	26.2%	25.4%	29.3%	27.9%	29.5%
文科系大学平均	36.8%	40.3%	37.1%	44.8%	42.7%	42.0%

2021年度 実施課題一覧

● 新学術領域研究（研究領域提案型）

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
新学術領域研究（研究領域提案型）	AA研	教授	床呂 郁哉	顔と身体表現の文化フィールドワーク研究	H29	R3
新学術領域研究（研究領域提案型）	総合国際学研究院	教授	松永 泰行	国家と制度：固定化された関係性	H28	R3

● 学術変革領域研究(A)

イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築：世界の分断をのりこえる戦略知の創造

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
学術変革領域研究(A)	AA研	教授	黒木 英充	イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築：世界の分断をのりこえる戦略知の創造	R2	R6
学術変革領域研究(A)	AA研	准教授	野田 仁	イスラームの知の変換	R2	R6
学術変革領域研究(A)	AA研	教授	黒木 英充	移民・難民とコミュニティ形成	R2	R6
学術変革領域研究(A)	AA研	教授	近藤 信彰	イスラーム共同体の理念と国家体系	R2	R6
学術変革領域研究(A)	AA研	助教	熊倉 和歌子	デジタルヒューマニティーズの手法によるコネクティビティ分析	R2	R6

● 思想、芸術およびその関連分野

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	岩崎 稔	記憶論的転回以後の集会的記憶論の学際的再検討	H28	R3
基盤研究(B)	AA研	研究員	高尾 賢一郎	現代ムスリム社会における風紀・暴力・統治に関する地域横断的研究	H30	R3
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	中山 智香子	世界システムとオeconomia：大戦間期の貨幣論の生態的・人類学的考察	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	久米 順子	中世イベリア半島のキリスト教美術とその集会的記憶：マイノリティの役割の（再）評価	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	八木 久美子	家族概念から見る近代国家におけるイスラーム性と世俗性：20世紀のエジプトを中心に	R2	R5
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	加藤 久子	社会主義期ポーランドにおけるカトリック教育とその現在への影響：公共宗教論再考	R2	R5
若手研究	AA研	研究員	岡本 圭史	宗教現象の再画定をめぐる宗教人類学的研究——ケニア、ドゥルマ社会の悪魔崇拝言説	R2	R5

若手研究	世界言語社会	講師	H a u k a m p I r i s	Generic innovation and collaborative scriptwriting: the Narutaki Group and their films within global and local contexts	R3	R5
------	--------	----	--------------------------	---	----	----

● 文学、言語学およびその関連分野

① 文学

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	AA研	助教	細田 和江	脱中心的多言語領域としての「地中海文学」の構築	H31	R4
基盤研究(B)	AA研	教授	近藤 信彰	ペルシア語歴史物語の生成、伝播、受容に関する学際的研究	R2	R5
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	沼野 恭子	ロシア・ウクライナ・ベラルーシの交錯——東スラヴ文化圏の領域横断的研究	H30	R3
基盤研究(B)	総合国際学研究院	准教授	西岡 あかね	歴史的アヴァンギャルドの作品と芸術実践におけるジェンダーをめぐる言説と表象の研究	H31	R3
基盤研究(C)	AA研	研究員	小田 淳一	ジョゼフ＝シャルル・マルドリユス遺贈未公開手稿カルネの翻刻と分析	R2	R6
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	丹羽 京子	ベンガル語ベンガル文学の総合的研究	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	山口 裕之	トランスレーション・スタディーズの視点からのドイツ翻訳思想史研究	R2	R4
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	野平 宗弘	ベトナムの詩人、阮攸の燕行漢詩集に関する基礎的研究とそれに基づく朝貢ルートの解明	R2	R5
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	武田 千香	ブラジルのマイノリティ文学における複合性：交差する人種・ジェンダー・クラス	R3	R5
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	佐々木 あや乃	ペルシア語神秘主義叙事詩『精神的マズナヴィー』のテキスト研究	R3	R5
基盤研究(C)	その他部局等	名誉教授	宇戸 清治	メコン川流域の叙事詩『ターオ・フン、ターオ・チュアン』の研究	H31	R3
若手研究	総合国際学研究院	准教授	小久保 真理江	20世紀前半のイタリア芸術文化におけるアメリカへの眼差し	H31	R3

② 言語学 ・ アジア

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	AA研	助教	倉部 慶太	ビルマの危機言語に関する緊急調査研究	H29	R3
基盤研究(B)	AA研	教授	澤田 英夫	ビルマの少数民族言語に関する類型的・系統的俯瞰像の構築	R2	R6
基盤研究(B)	AA研	教授	中山 俊秀	言語喪失の動態の研究：沖永良部語若年層話者における言語消滅メカニズムの解明	R2	R5
基盤研究(B)	世界言語社会	教授	齋藤 スニサー	代名詞代用・呼びかけ表現の通言語学的研究	R2	R5

基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	風間 伸次郎	アルタイ諸言語の文法の総合的研究	R2	R6
基盤研究(B)	その他部局等	名誉教授	新谷 忠彦	タイ文化圏に関する言語事典の編纂に向けて	H30	R4
基盤研究(C)	AA研	准教授	山越 康裕	シネヘン・ブリヤート語をはじめとしたモンゴル諸語の「文」の完結性に関する研究	H29	R3
基盤研究(C)	AA研	教授	呉人 徳司	動詞の他動性に関するチュクチ語とモンゴル語の比較対照研究	H30	R3
基盤研究(C)	AA研	研究員	海老原 志穂	民俗語彙と特有文法に着目した、チベット語東西方言の記述的・通時的研究	H31	R4
基盤研究(C)	AA研	准教授	伊藤 智ゆき	標準韓国語長母音の消失に関する音韻論的研究	R2	R4
基盤研究(C)	AA研	教授	塩原 朝子	パラレルコーパスに基づくマレー語変種にみられる「一致」の発達についての研究	R2	R6
基盤研究(C)	国際日本学研究院	准教授	花園 悟	危機言語教育に対する日本語教育の方法の適用(2) —沖縄語基礎語辞典の開発—	H29	R3
基盤研究(C)	国際日本学研究院	准教授	花園 悟	危機言語教育に対する日本語教育の方法の適用(3) —中級沖縄語教科書の作成—	R3	R5
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	野元 裕樹	マレー語地域変種における受動文のミクロ変異研究とコーパス・語彙資源開発	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	吉枝 聡子	「ヘルシア語化」の諸相に関する類型論的研究—フヒー語とクルド語の事例を中心に	H31	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	佐藤 大和	音調動態形式に基づく日本語アクセントの研究	H31	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	益子 幸江	声調言語と非声調言語のリズム形成とイントネーションについて	R2	R4
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	南 潤珍	小説コーパスに見る20世紀韓国語の変化に対する総合的研究	R3	R5
基盤研究(C)	その他部局等	名誉教授	井上 史雄	公共用語の発展的理論と実証調査	R2	R4
若手研究	AA研	助教	安達 真弓	ベトナム系移民の言語使用から見るコードスイッチング生起の言語的要因と社会的要因	H30	R3
若手研究	AA研	准教授	児倉 徳和	人称標示・人称標識に注目したアルタイ諸言語の機能的類型論	H30	R3
若手研究	AA研	特別研究員(RPD)	横山 晶子	危機言語コミュニティにおける言語生態系と言語移行の関係—琉球沖永良部語を事例に—	H30	R3
若手研究	AA研	研究員	青井 隼人	琉球諸語における声門化子音の類型的・歴史的研究	R2	R5
若手研究	AA研	助教	倉部 慶太	失われつつあるカチン族の言語文化の記録・保存・継承	R2	R5
若手研究	世界言語社会	講師	幸松 英恵	ノダ系推論表現の日本語推論体系における位置付けと通時的変遷について	H31	R3
若手研究	世界言語社会	講師	山本 恭裕	パプア・ニューギニアのアイク語の言語ドキュメンテーションと文法記述	R2	R5

挑戦的研究（萌芽）	AA研	准教授	荒川 慎太郎	アジアの文字研究を対象とした、「字形」研究基盤の構築	H31	R3
挑戦的研究（萌芽）	世界言語社会	准教授	ハーン アーミル・アリー	共通語『現代ヒンドウスターニー語』の解明	R2	R4
挑戦的研究（萌芽）	総合国際学研究院	准教授	萬宮 健策	南アジア地域における英語変種「ヒングリッシュ」の解明	H30	R3
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	AA研	教授	塩原 朝子	インドネシア・フィリピンにおける少数言語の記録とコーパス構築に基づく研究	H31	R5
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	AA研	教授	中山 俊秀	タイ少数民族における持続可能なコミュニティ協働型言語・文化ナレッジベースの構築	R2	R4
研究活動スタート支援	その他部局等	研究員	村上 明香	ウルドゥー語女性雑誌における女性の表象とその歴史の変容	R2	R3

・ヨーロッパおよびアメリカ

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	藤縄 康弘	複合判断・単独判断に基づく「主語」相対化の文法理論構築に向けた経験的基盤研究	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	匹田 剛	ロシア語の非典型的名詞句としての数量詞句の記述的・理論的研究	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	中山 久美子	ヌートカ語アハウザット方言の自然談話データベース構築およびテキスト集の作成	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	大谷 直輝	具体性の高い構文の研究：実証的な言語分析手法の構築を目指して	H31	R4
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	秋廣 尚恵	現代フランス語話し言葉における談話標識と言語変異の記述	R2	R4
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	長渡 陽一	マルタ語における動詞の時制・アスペクト研究：アラビア語諸方言との対照の観点から	R3	R7
若手研究	AA研	特別研究員 (PD)	岩崎 加奈絵	ハワイ語における空間表現—動作の方向を示す機能語の研究	H31	R4
若手研究	総合国際学研究院	准教授	BORLONG ANA・M	Americanization across Englishes	H31	R3
挑戦的研究（萌芽）	AA研	教授	渡辺 己	スライアモン語のアクセント研究の新展開—母語が異なる研究者による共同研究の試み	H31	R3

・アフリカおよび地域横断

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	中川 裕	言語音の多様性の外延の理解拡大：3軸軸データによるカラハリ言語帯の音韻類型論	R2	R6
基盤研究(B)	AA研	教授	渡辺 己	複統合的言語の語形成と情報構造に関する研究—抱合と語彙的接辞の比較対照を通して	H31	R3
基盤研究(C)	AA研	准教授	品川 大輔	バントゥ諸語に見られる類型間連動関係の研究	H31	R3

基盤研究(C)	AA研	研究員	若狭 基道	アフロアジア大語族の歴史解明に資するウォライタ語とその関連言語の研究	H31	R3
挑戦的研究(萌芽)	総合国際学研究院	教授	中川 裕	音韻獲得の言語相対論の新展開：クリック子音獲得の事例研究	H30	R3
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	総合国際学研究院	教授	中川 裕	カラハリ・コエにおける言語と音楽の相互関係：クリックとポリリズム	H30	R4

● 歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野

① 史学一般

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(A)	AA研	研究員	永原 陽子	第二次世界大戦期植民地兵の研究—植民地世界の戦争・労働・ジェンダー	H28	R3
基盤研究(B)	AA研	准教授	石川 博樹	第2次イタリア・エチオピア戦争をめぐる人種・民族問題の研究	R3	R6
基盤研究(B)	世界言語社会	講師	小野寺 拓也	「感情体制」と生きられた感情—エゴドキュメントに見る「近代性」	H31	R4
基盤研究(B)	総合国際学研究院	准教授	伊東 剛史	グローバル化と「共感の共同体」—19世紀後半から20世紀後半を中心に—	H29	R3
基盤研究(C)	AA研	研究員	永原 陽子	「人骨研究」と植民地主義—ヨーロッパ・アフリカ・日本	R2	R5
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	巽 由樹子	現代ロシアの文化外交と美術館—「記憶の政治」のメディア分析—	H31	R4
研究活動スタート支援	世界言語社会	講師	大鳥 由香子	越境する子どもたち：戦間期における国際児童保護、難民保護とパスポート制度	R2	R3

② アジア史およびアフリカ史

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	青山 亨	東南アジア「古代史」の下限としての14・15世紀に関する地域・分野横断的研究	H31	R4
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	吉田 ゆり子	南信濃山里社会の文化的景観とその歴史的形成過程に関する基盤的研究	R2	R5
基盤研究(B)	AA研	教授	高松 洋一	イスラーム圏における簿記史料の通時的・共時的研究	H29	R3
基盤研究(C)	AA研	教授	太田 信宏	植民地インドのマイスール藩王国における文芸と王権	H28	R3
基盤研究(C)	AA研	准教授	野田 仁	反乱と越境：ロシアにおける1916年反乱の中国新疆への影響	H31	R3
基盤研究(C)	AA研	准教授	苅谷 康太	初期ソコト・カリフ国における知と暴力：ジハードと奴隷制を支える思想の研究	H31	R4
基盤研究(C)	AA研	助教	熊倉 和歌子	中世エジプト環境変動期の村落社会と地方行政	R2	R5

基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	青木 雅浩	1920年代のモンゴル人の軍事・諜報活動と統一独立国家建設の研究	H31	R3
基盤研究(C)	その他部局等	名誉教授	二木 博史	内外モンゴルの外邦図の歴史学的研究	H30	R3
若手研究	AA研	研究員	篠田 知暁	初期近世西地中海地域の「境域」における異教徒間関係の形成	H30	R3
若手研究	AA研	准教授	小倉 智史	ムガル宮廷における翻訳活動—『ヨーガヴァーシシュタ』ペルシア語訳の研究	H30	R3
若手研究	世界言語社会	講師	上原 こずえ	個人史から見る環太平洋地域を越境する社会運動のネットワーク	H30	R3
挑戦的研究(萌芽)	AA研	研究員	新江 利彦	ベトナムのチャム回儒とイスラーム・儒教融合	H31	R3
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	AA研	教授	太田 信宏	翻訳から見る近世南アジアの文化多元主義	H30	R3

③ヨーロッパ史およびアメリカ史

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	総合国際学研究院	准教授	小田原 琳	アルペン・アドリア地域を範例とする境界化の権力に対する住民の戦略的実践の研究	H31	R4
基盤研究(B)	総合国際学研究院	准教授	伊東 剛史	「共感すること」の歴史的変遷—18～20世紀ヨーロッパの感情史	R2	R4
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	篠原 琢	帝国辺境の近代化と国民化する帝国	R2	R5
基盤研究(B)	その他部局等	名誉教授	立石 博高	ヨーロッパにおける地霊論の系譜と記憶の積層化に関する宗教社会史的研究	H29	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	芹生 尚子	近世フランスの軍隊社会に関する基礎的研究	H30	R3
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	総合国際学研究院	准教授	伊東 剛史	近現代イギリスにおける「人と動物の関係史」—領域設定による総合的理解モデルの構築	H29	R3
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	総合国際学研究院	准教授	小田原 琳	ヨーロッパ境界地域における経験の記憶化と歴史化のプロセスに関する比較研究	H30	R3

●地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野

①文化人類学および民俗学(アジア)

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(A)	AA研	教授	西井 涼子	グローバル化における権力編成の変動と新たなコミュニティ運動—東南アジア大陸部から	H29	R3
基盤研究(A)	AA研	教授	外川 昌彦	現代南アジアにおけるムスリム社会の多極化の傾向—テロとツーリズム	H31	R5
基盤研究(B)	AA研	准教授	吉田 ゆか子	「コロナ状況」下で育まれる芸能—危機への応答・身体性をめぐる交渉・社会との関係	R3	R5

基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	土佐 桂子	ポスト軍政期ミャンマーにおける宗教NGOの人類学的研究	H29	R3
基盤研究(C)	AA研	准教授	吉田 ゆか子	ジャカルタにおけるバリ芸能の民族誌—宗教間・民族間の交渉と相互理解を焦点に	H29	R3
基盤研究(C)	AA研	研究員	大坪 玲子	排除される文化：ムスリム移民と嗜好品に関する人類学的研究	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	上村 明	モンゴル牧畜社会におけるプリコラージュの研究	H29	R3
若手研究	AA研	助教	河合 文	半島マレーシアの狩猟採集民における移動と社会	H31	R4
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	AA研	教授	外川 昌彦	現代バングラデシュの社会変動とイスラーム-地域研究の統合分析	H30	R4
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	その他部局等	名誉教授	深澤 秀夫	インド洋西域島嶼社会における包摂・接合・分離をめぐる共和制と多元問題の共同研究	H31	R6

②文化人類学および民俗学（アフリカ）

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(C)	AA研	研究員	吉田 優貴	ケニアの聾/聴者の相互行為態に関するヴィジュアル・メソッドを用いた民族誌的研究	R2	R4
基盤研究(C)	その他部局等	名誉教授	深澤 秀夫	マダガスカルにおける損失の回復をめぐる観念の歴史的過程と共時的生成の統合的研究	H30	R3
基盤研究(C)	その他部局等	名誉教授	深澤 秀夫	マダガスカルにおける民衆暴力の生成基盤と国家権力との再帰性をめぐる人類学的研究	R3	R6
研究活動スタート支援	現代アフリカ	研究員	村橋 勲	南スーダン難民による「家」の創造に関する人類学的研究	R2	R3
研究活動スタート支援	現代アフリカ	研究員	村津 蘭	感覚による信念の生成—ベナンにおける精霊マミワタを事例として	R2	R3

③文化人類学および民俗学（欧州およびアメリカ、オセアニア、地域横断）

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(S)	AA研	教授	河合 香史	社会性の起原と進化：人類学と霊長類学の協働に基づく人類進化理論の新開拓	H31	R5
基盤研究(A)	AA研	教授	西井 涼子	人類学的フィールドワークを通じた情動研究の新展開：危機を中心に	H29	R3
基盤研究(B)	AA研	教授	床呂 郁哉	ものの人類学的研究—技芸複合の視点から	R2	R6
基盤研究(B)	AA研	教授	西井 涼子	死の人類学再考：アフェクト/情動論による「現実」への人類学的手法による探究	R3	R7
基盤研究(C)	AA研	研究員	内山田 康	原子力開発のグローバルなネットワークの周縁における生活世界の変容の人類学	R3	R5
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	山内 由理子	移民と先住民のルーツを生きる—北西部オーストラリアの日本人移民と先住民	H29	R3

● 政治学およびその関連分野

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	青山 弘之	東アラブ地域の非公的政治主体による国家機能の補完・纂奪に関する研究	H30	R4
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	武内 進一	アフリカ国家論の再構築—農村からの視点	R3	R7
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	篠田 英朗	国際安全保障の協働化／分業化：アフリカにおけるパートナーシップ平和活動の比較	R2	R4
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	若松 邦弘	イギリス政治における「疎外」の複層性と争点変化—ローカルレベルの政党支持の分析	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	青木 健太	紛争後のハイブリッドな国家建設の妥当性に関する実証研究：アフガニスタンを事例に	R3	R5
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	中山 裕美	生命科学技術による国際秩序変容の分析：生体情報を用いた移民管理の普及を事例として	R3	R6
若手研究	世界言語社会	講師	舩方 周一郎	気候変動政策への中国戦略的パートナーシップの関与：ブラジルとメキシコの比較分析	H31	R3
若手研究	世界言語社会	講師	木村 正美	「近代」の中の占領期：日米同盟形成要因の再考	R2	R5
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	総合国際学研究院	教授	武内 進一	アフリカの農村資源管理と国家—ガーナとルワンダの比較研究	H31	R4

● 教育学およびその関連分野

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	投野 由紀夫	CEFR準拠の外国語教育資源整備用ワークベンチの開発と評価	H30	R3
基盤研究(A)	総合国際学研究院	教授	根岸 雅史	CEFR-Jに基づくCAN-DOタスク中心の教授と評価に関する総合的研究	R2	R6
基盤研究(A)	その他部局等	名誉教授	芝野 耕司	大規模日本語定型表現抽出と構造分析による帰納的文法再構築及び日本語教育への応用	R2	R6
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	加藤 美帆	欠席の戦後史—長期欠席、登校拒否から不登校へ	H31	R5
若手研究	AA研	研究員	谷口 晴香	寛容な社会性をもつニホンザルの離乳期の育児：子どもの中で子を育てる	R3	R6
若手研究	世界言語社会	講師	布川 あゆみ	ドイツにおける移民の社会統合をめぐる問題：学校適応の「難しさ」に着目して	H31	R4

● その他の分野

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
-------	-----	----	----	-------	------	------

基盤研究(A)	AA研	研究員	長澤 榮治	イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究	R2	R5
基盤研究(B)	総合国際学研究院	准教授	望月 源	大規模字幕コーパスからの単語・フレーズ・会話のボトムアップ言語教材自動抽出	H31	R4
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	田島 充士	多文化社会を創造的に生き抜くためのリーダーシップ養成：「異文化跳躍力」の提案	H30	R3
基盤研究(C)	保健管理センター	准教授	山内 康宏	難治性重症呼吸器疾患におけるマクロファージ・フロントに着目した新規治療法の開発	H30	R3
若手研究	世界言語社会	講師	田邊 佳美	仏旧植民地出身移民（の子孫）の抵抗——インターセクショナルな連合の不／可能性	R2	R5
若手研究	世界言語社会	講師	川本 智史	前近代オスマン朝の住宅史の再構築：接客空間の形成を中心に	R2	R5
若手研究	総合国際学研究院	講師	渡辺 周	日本企業における経営者交代の影響に関する再検討：意思決定への影響と責任に注目して	R2	R5

●分野横断：言語教育

①外国語教育

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	吉富 朝子	CEFR-Jに準拠した入学から卒業までの英語スピーキング能力の指導・評価システム	H30	R3
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	望月 圭子	国際連携・高大連携による英語・中国語・日本語「作文/対話」学習者コーパスの研究	R2	R4
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	川口 裕司	言語変異に基づくフランス語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析	R2	R5
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	吉富 朝子	CEFR-Jに準拠した英語スピーキング能力の指導・評価システムの拡充	R3	R6
基盤研究(B)	その他部局等	名誉教授	高島 英幸	小学校プロジェクト型外国語教育における練習から言語活動までの可視化と評価	R3	R7
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	長渡 陽一	アラビア語の会話体と文章体の統合的使用語彙調査と学習者用語彙目録作成	H28	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	斎藤 弘子	英語のプロソディーの習得にL1が及ぼす影響	H31	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	内藤 稔	就学期の児童生徒への多言語支援に向けたコミュニケーション通訳者養成教材の研究	R2	R4

②日本語教育

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	国際日本学研究院	教授	藤村 知子	大規模字幕コーパスを利用したCan-doリスト対応型eラーニング教材の研究	H28	R3
基盤研究(B)	国際日本学研究院	教授	鈴木 智美	辞書サイト・アプリ開発に資する質の高い日本語例文バンクの構築とその応用研究	R3	R6

基盤研究(C)	国際日本学研究院	研究員	本田 ゆかり	日本語教育語彙リストの開発—読解語彙6000語の選定—	H30	R3
基盤研究(C)	国際日本学研究院	教授	伊集院 郁子	評価者・学習者・意見文の分析に基づく評価の検証：作文の自律学習支援を目指して	H30	R3
基盤研究(C)	国際日本学研究院	准教授	大津 友美	ASEAN日系企業における異文化間コミュニケーションの研究	H30	R3
基盤研究(C)	国際日本学研究院	教授	中井 陽子	インターアクション能力育成のための会話データ分析の手法を学ぶ教材開発とその検証	H31	R3
基盤研究(C)	国際日本学研究院	教授	海野 多枝	留学中の第二言語習得とアイデンティティ：映像データによる自伝的アプローチ	H31	R3
基盤研究(C)	国際日本学研究院	教授	菅長 理恵	留学初年次から使用可能なキャリア形成支援教材の開発	H31	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	研究員	本田 ゆかり	日本語到達度指標JFスタンダードに準拠した語彙・表現リストの開発	R3	R5
若手研究(B)	国際日本学研究院	講師	石澤 徹	語彙学習における学習者特性の影響	H28	R3
若手研究	世界言語社会	講師	嶋原 耕一	母語話者而非母語話者による成員カテゴリーの交渉と社会的行為について	H30	R3

● 分野横断：地域研究

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	AA研	教授	黒木 英充	シリア内戦の比較研究—レバノン・旧ユーゴスラビアの内戦と戦後和解	H30	R3
基盤研究(B)	世界言語社会	准教授	東城 文柄	エコヘルスの視点からのサルマラリア対策に資するフィールド科学の統合的実践	R2	R5
基盤研究(B)	世界言語社会	教授	萩尾 生	共生社会の実現に向けた社会政策としての多言語政策に関する言語社会学的国際比較研究	R3	R5
基盤研究(B)	国際日本学研究院	教授	友常 勉	社会運動における生存権・生存思想の影響とその射程に関する基礎的研究	R3	R5
基盤研究(B)	総合国際学研究院	教授	武内 進一	アフリカ農村部における資源管理と政治権力	H30	R3
基盤研究(B)	総合国際学研究院	研究員	高岡 豊	中東の非国家武装主体の越境的活動に関する比較研究	R3	R5
基盤研究(B)	その他部局等	名誉教授	今井 昭夫	近現代ベトナムにおける中国プレゼンスの諸相—連環人文学的ベトナム地域研究	H29	R3
基盤研究(C)	AA研	准教授	椎野 若菜	東アフリカ都市におけるエリート・シングルとハウスガールの「同居家族」の研究	H29	R3
基盤研究(C)	AA研	教授	栗原 浩英	「同志性」からみたベトナム・中国関係の変容と展望に関する研究	H30	R3
基盤研究(C)	世界言語社会	教授	萩尾 生	フランコ体制下におけるバスク語復権の再検討—バスク語教育の越境的性の観点から—	H30	R3
基盤研究(C)	世界言語社会	講師	三代川 寛子	コプト正教会のアフリカ宣教活動とその影響についての総合的研究	R3	R7

基盤研究(C)	国際日本学研究院	教授	友常 勉	ケガレ-キヨメ体制の地域間比較とその今日的展開に関する基礎的研究	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	准教授	坂井 真紀子	カメルーンにおける定期市ネットワークの社会学的研究	H30	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	宮田 敏之	タイ農協の農業関連事業改革とその課題：タイ東北部・香り米生産地域の農協経営戦略	R3	R5
若手研究(B)	世界言語社会	講師	三代川 寛子	エジプトのナショナリズムにおける民族概念と宗教的アイデンティティ	H29	R3
若手研究	世界言語社会	講師	小田 なら	ベトナム南部における医療ネットワークの展開と継承	H31	R3
若手研究	世界言語社会	講師	登利谷 正人	アフガニスタンにおける国民統合政策の変容に見るエスニシティ間対立構造の分析	H31	R4
若手研究	総合国際学研究院	准教授	出町 一恵	天然資源依存経済におけるマクロ経済と産業の推移に関する分析	H30	R3

●分野横断：その他

研究種目名	部局名	職名	氏名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	AA研	教授	星 泉	フィールドデータと文献資料をつなぐ「チベット語民俗語彙=用例データベース」の構築	R2	R6
基盤研究(C)	AA研	研究員	小田 淳一	インド洋クレオール民話におけるオラリティの多義的共在性	H31	R3
基盤研究(C)	総合国際学研究院	教授	金 富子	朝鮮半島の植民地遊廓の形成・展開・変容～解放後韓国への連続/非連続に注目して～	R2	R5
若手研究	AA研	助教	後藤 絵美	近現代イスラームにおける「排除」と知識人に関する研究	H30	R3
若手研究	総合国際学研究院	研究員	古橋 綾	性風俗及び「売春」の社会的位置：当事者の視覚からの概念化	R3	R5

○分類方法

新学術領域研究（研究領域提案型）、学術変革領域研究(A)はそのまま分類した。

それ以外の研究種目は、科学研究費助成事業「審査区分表」（平成30年度助成に係る審査より適用）より引用し、中区分を軸に分類を行い、件数が多い場合は小区分、さらに多い場合は内容より判断し地域に細分化して分類を行った。平成29年度以前採択の課題は、研究分野・キーワード等から判断した。

- ・基盤S：審査区分が大区分のため、内容より判断し中区分に細分化
- ・基盤A、挑戦的研究（開拓・萌芽）：審査区分が中区分のため、そのまま分類
- ・基盤B,C、若手研究：審査区分が小区分のため、審査区分表に基づき中区分に振り直した
- ・その他の研究種目：審査区分や内容により中区分に分類（グローバル化と「共感の共同体」ー19世紀後半
- ・基盤B,Cの応募区分「特設分野研究」は、分野横断：その他 に分類

第3章 外部資金

第2節 受託研究・共同研究・受託事業

※国立大学の文科系大学について

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による各国立大学の財務関係情報の集計・分析に用いられる特性別区分（86大学を学部構成等の特性に応じて①旧帝国大学、②附属病院を有する総合大学、③附属病院を有しない総合大学、④理工系大学、⑤文科系大学、⑥医科系大学、⑦教育系大学、⑧大学院大学の8区分に分類）を基に、⑤文科系大学の5大学間で比較を行う。

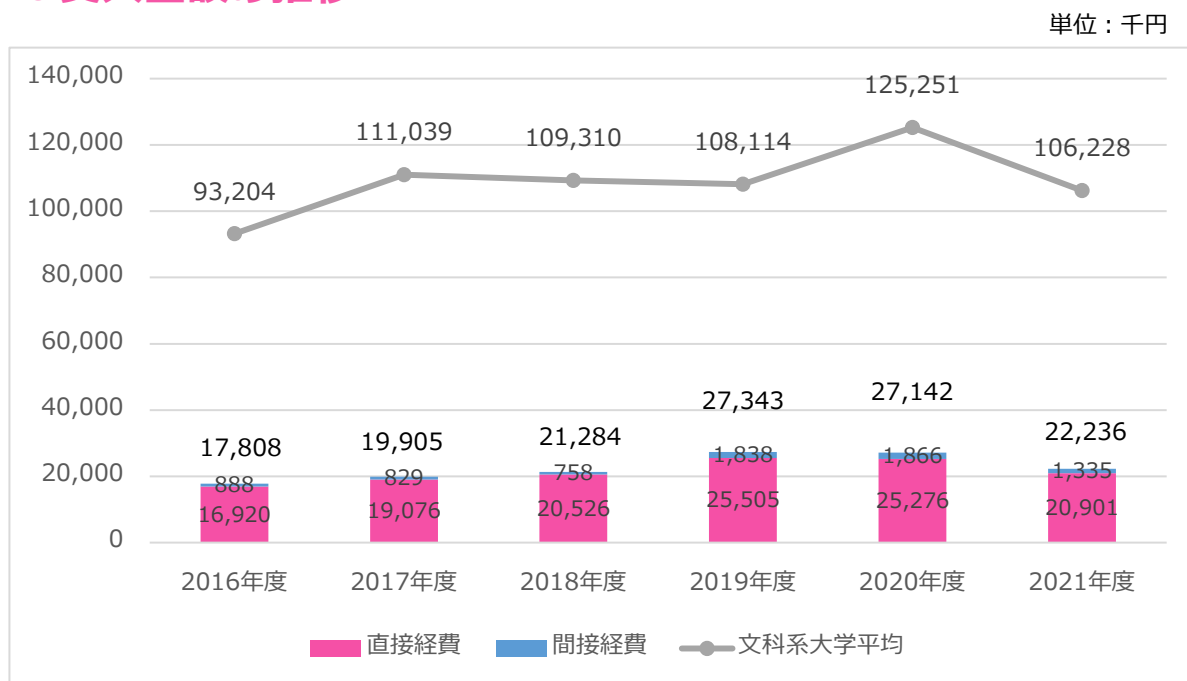
【⑤文科系大学 5大学】小樽商科大学、東京外国語大学、東京藝術大学、一橋大学、滋賀大学

受託研究

受託研究とは、国立大学法人等において外部からの委託を受けて法人の業務として行う研究で、これに要する経費を原則として委託者が負担するものである。国立大学法人等は、契約に基づき当該研究の成果を委託者に報告する等の義務を負う。

（「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針（令和4年5月19日最終改訂）より）

● 受入金額の推移



各大学 財務諸表 2016年度～2021年度をもとに作成

単位：千円

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	16,920	19,076	20,526	25,505	25,276	20,901
間接経費	888	829	758	1,838	1,866	1,335
合計	17,808	19,905	21,284	27,343	27,142	22,236
文科系大学平均	93,204	111,039	109,310	108,114	125,251	106,228

● 2021年度 受託研究の内訳

機関	研究テーマ
独立行政法人日本学術振興会	【課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業】 予測的符号化の原理による心性の創発と共有-認知科学・人文学・情報学の統合的研究-
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構	【南アジア地域研究推進事業】 南アジアの文学・社会運動・ジェンダー
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構	【現代中東地域研究推進事業】 人間の移動・交流によるネットワークの構築
独立行政法人 日本学術振興会	人文学の分野に関する学術研究動向及び学術振興方策-人文学分野（とくに言語学）における多言語試料データの現状と展開-
独立行政法人 日本学術振興会	【二国間交流事業】 バントゥ諸語の過去と現在：マイクロ類型論，歴史比較言語学，辞書額の統合による新展開
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構	2021年度新型コロナウイルス感染症にかかる地球観測衛星データの公衆衛生的評価

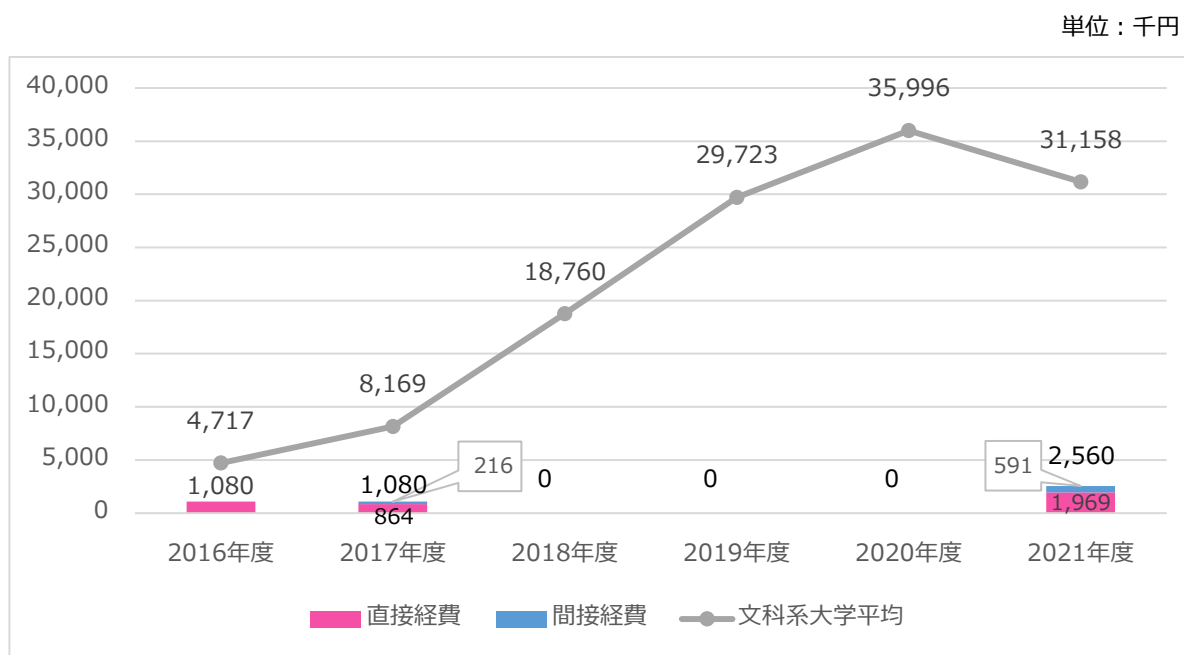
共同研究

共同研究とは、

- ①国立大学法人等において、民間等外部の機関から研究者及び研究経費等を受け入れて、当該法人の教員が民間等外部の機関の研究者と共通の課題について共同して行う研究
- ②国立大学法人等及び民間等外部の機関において共通の課題について分担して行う研究で、当該法人において、民間等外部の機関から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れるものことである。

（「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針（令和4年5月19日最終改訂）より）

● 受入金額の推移



各大学 財務諸表 2016年度～2021年度をもとに作成

単位：千円

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	1,080	864	0	0	0	1,969
間接経費	0	216	0	0	0	591
合計	1,080	1,080	0	0	0	2,560
文科系大学平均	4,717	8,169	18,760	29,723	35,996	31,158

● 2021年度 共同研究の内訳

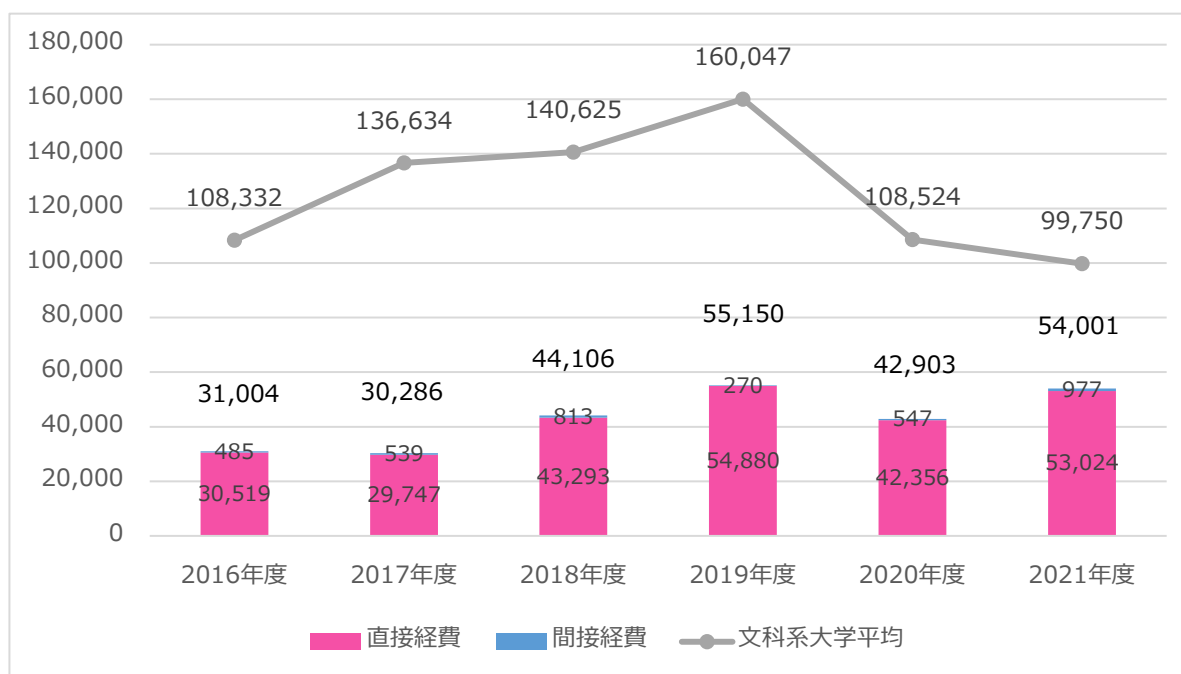
機関	研究テーマ
株式会社プロゴス	日本語スピーキングケアセサメント事業に関する共同研究

受託事業

受託事業とは、国立大学法人等において外部からの委託を受けて法人の業務として行う諸活動のうち、受託研究を除くものであり、これに要する経費を原則として委託者が負担するものことである。国立大学法人等は、契約に基づき当該業務の成果を委託者に報告する等の義務を負う。（「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針（令和4年5月19日最終改訂）より）

● 受入金額の推移

単位：千円



各大学 財務諸表 2016年度～2021年度をもとに作成

単位：千円

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	30,519	29,747	43,293	54,880	42,356	53,024
間接経費	485	539	813	270	547	977
合計	31,004	30,286	44,106	55,150	42,903	54,001
文科系大学平均	108,332	136,634	140,625	160,047	108,524	99,750

第3章 外部資金

第3節 寄附金

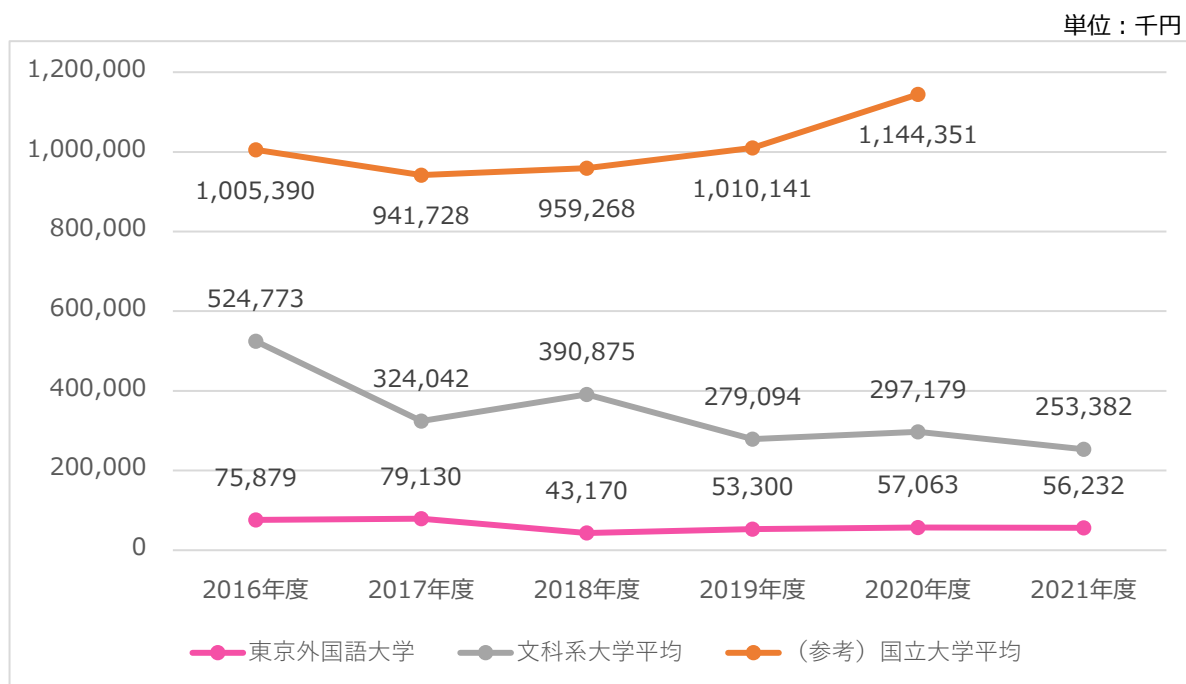
※国立大学の文科系大学について

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による各国立大学の財務関係情報の集計・分析に用いられる特性格別区分（86大学を学部構成等の特性に応じて①旧帝国大学、②附属病院を有する総合大学、③附属病院を有しない総合大学、④理工系大学、⑤文科系大学、⑥医科系大学、⑦教育系大学、⑧大学院大学の8区分に分類）を基に、⑤文科系大学の5大学間で比較を行う。

【⑤文科系大学 5大学】小樽商科大学、東京外国語大学、東京藝術大学、一橋大学、滋賀大学

寄附金

● 受入金額の推移



2016～2017年度 文部科学省「国立大学関係データについて」

2018～2020年度 文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」

2021年度 各大学 財務諸表 をもとに作成

単位：千円

項目名／年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京外国語大学	75,879	79,130	43,170	53,300	57,063	56,232
文科系大学平均	524,773	324,042	390,875	279,094	297,179	253,382
(参考) 国立大学平均	1,005,390	941,728	959,268	1,010,141	1,144,351	—

※財務諸表を公開していない大学があるため、2021年度国立大学平均は算定不可

MEMO

MEMO

(本件担当)

東京外国語大学総務企画課評価企画係

Tel: 042-330-5152

Mail: soumu-hyouka@tufs.ac.jp